

米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針

令 和 7 年 5 月

農 林 水 産 省

目 次

第 1	米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針	1
第 2	米穀の需給の見通しに関する事項	1
1	令和 5 / 6 年の需要実績	1
	（ 1 ） 需要実績の対象期間及び対象米穀	
	（ 2 ） 算出方法	
	（ 3 ） 需要実績（確定値）	
2	令和 6 / 7 年及び令和 7 / 8 年の需要見通し（推計値）	2
3	令和 6 / 7 年及び令和 7 / 8 年の需給見通し	4
	（ 1 ） 令和 6 / 7 年の需給見通し	
	（ 2 ） 令和 7 / 8 年の需給見通し	
第 3	米穀の備蓄の目標数量その他米穀の備蓄の運営に関する事項	5
1	備蓄運営の基本的な考え方	5
2	令和 6 / 7 年の備蓄運営	6
第 4	米穀の輸入数量及びその種類別の数量に関する事項	7
1	令和 6 会計年度の輸入状況	7
2	令和 7 会計年度の輸入方針	7
	参考統計表	8

【米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の変更について】

主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成 6 年法律第 113 号）第 4 条第 1 項に基づき、令和 6 年 7 月 30 日に策定した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」を、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律施行規則（平成 7 年農林水産省令第 17 号）第 1 条に基づき見直し、同法第 4 条第 6 項により変更するものです。

第1 米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針

米穀の需給及び価格の安定を図るため、米穀の需給の適確な見通しを策定し、これに基づき、整合性をもって、米穀の需給の均衡を図るための生産調整の円滑な推進及び米穀の供給が不足する事態に備えた備蓄の機動的な運営を行います。

このうち、米穀の生産調整の円滑な推進については、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）の枠組みの下で、平成30年産以降は、行政による都道府県別の生産数量目標等の配分は行わないこととし、政府が策定する米穀の需給の見通し等の情報を踏まえつつ、生産者や集荷業者・団体が中心となって円滑に需要に応じた生産に取り組むとともに、水田の有効活用により自給率向上を図るため、主食用米の需要拡大、米粉用米や飼料用米等の生産・利用の拡大に取り組めます。

また、政府が行う備蓄については、米穀の生産量の減少によりその供給が不足する事態に備え、毎年6月末時点での在庫量100万トン程度を現行の適正水準として保有します。

第2 米穀の需給の見通しに関する事項

1 令和5/6年の需要実績

（1）需要実績の対象期間及び対象米穀

米穀の需要実績については、前年7月から当年6月までの1年間について算出することとしています。

また、需要実績の算定の対象となる米穀は、国内で生産された水稻うるち米及び水稻もち米から、需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領（平成26年4月1日付け25生産第3578号農林水産省生産局長通知）第4及び第5で定める加工用米その他主食用に充当されない米穀を除いた米穀（以下「主食用米等」という。）としています。

（2）算出方法

需要実績は、令和5年産主食用米等生産量、令和5年6月末民間在庫量及び令和6年6月末民間在庫量を基に算出します。

表1 令和5/6年の需要実績の算出方法

$$\text{需要実績} = \text{①} + \text{②} - \text{③}$$

① 令和5年産主食用米等生産量

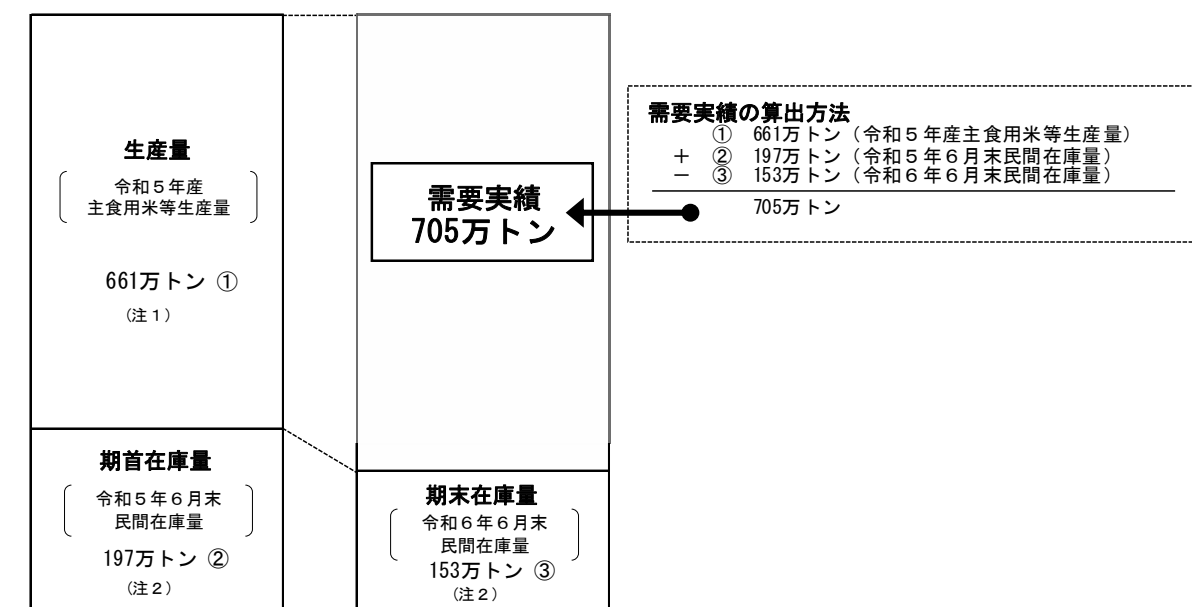
② 令和5年6月末民間在庫量

③ 令和6年6月末民間在庫量

(3) 需要実績（確定値）

前記方法により算出した令和5/6年（令和5年7月から令和6年6月までの1年間）の需要実績（確定値）は、図1のとおり705万トンとなります。

図1 令和5/6年の需要実績



注1：主食用米等生産量は、令和5年産水稻の収穫量(主食用)（「作物統計」農林水産省大臣官房統計部）である。

注2：6月末在庫量は、玄米の取扱数量が年間500トン以上の届出事業者の在庫量に水稻を作付けした生産者の在庫量（推計値）を加えたものである。

注3：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

2 令和6/7年及び令和7/8年の需要見通し（推計値）

需要見通しについては、我が国の人口が減少局面に入ったことを踏まえ、平成30年11月の米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（以下「基本指針」という。）において採用した、1人当たり消費量（推計値）に人口（推計値）を乗じる手法により、算出することとします。

具体的には、

- ① 平成8/9年から令和5/6年までの需要実績をそれぞれ当該年の人口で除し、各年の1人当たり消費量を算出
- ② ①で算出した値を用いたトレンド（回帰式）で、令和6/7年（令和6年7月から令和7年6月まで）及び令和7/8年（令和7年7月から令和8年6月まで）の1人当たり消費量（推計値）を算出
- ③ ②で算出した値に令和6年及び令和7年の人口（推計値）を乗じて算出することとします。結果は図2及び表2のとおりとなります。

図2 令和6/7年及び令和7/8年の需要見通しの算出方法

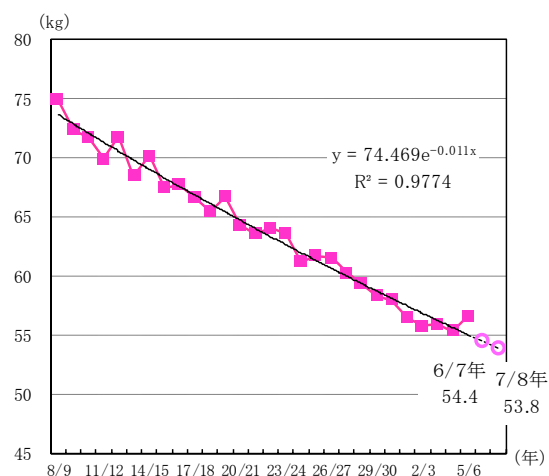
① 平成8/9年から令和5/6年までの1人当たり消費量を算出

年	需要実績 ①	人口 ②	1人当たり消費量 ①/②
	万トン	千人	kg
8/9	943.8	125,859	75.0
9/10	912.9	126,157	72.4
10/11	907.3	126,472	71.7
11/12	885.9	126,667	69.9
12/13	911.5	126,926	71.8
13/14	872.1	127,316	68.5
14/15	894.7	127,486	70.2
15/16	861.6	127,694	67.5
16/17	865.4	127,787	67.7
17/18	851.7	127,768	66.7
18/19	837.5	127,901	65.5
19/20	854.5	128,033	66.7
20/21	823.6	128,084	64.3
21/22	814.1	128,032	63.6
22/23	820.0	128,057	64.0
23/24	813.3	127,834	63.6
24/25	781.1	127,593	61.2
25/26	786.6	127,414	61.7
26/27	782.5	127,237	61.5
27/28	766.2	127,095	60.3
28/29	754.0	127,042	59.4
29/30	739.6	126,919	58.3
30/元	734.6	126,749	58.0
元/2	714.4	126,555	56.4
2/3	704.0	126,146	55.8
3/4	701.5	125,502	55.9
4/5	691.1	124,947	55.3
5/6	704.9	124,352	56.7

注：人口は、総務省「人口推計」の各年10月1日現在の値である。

② 令和6/7年及び令和7/8年の1人当たり消費量(推計値)を算出

年	x	1人当たり消費量(y)
8/9	1	75.0
9/10	2	72.4
10/11	3	71.7
11/12	4	69.9
12/13	5	71.8
13/14	6	68.5
14/15	7	70.2
15/16	8	67.5
16/17	9	67.7
17/18	10	66.7
18/19	11	65.5
19/20	12	66.7
20/21	13	64.3
21/22	14	63.6
22/23	15	64.0
23/24	16	63.6
24/25	17	61.2
25/26	18	61.7
26/27	19	61.5
27/28	20	60.3
28/29	21	59.4
29/30	22	58.3
30/元	23	58.0
元/2	24	56.4
2/3	25	55.8
3/4	26	55.9
4/5	27	55.3
5/6	28	56.7
6/7	29	54.4 (推計値)
7/8	30	53.8 (推計値)



③ 令和6/7年及び令和7/8年の1人当たり消費量(推計値)に令和6年及び令和7年の人口(推計値)を乗じて需要見通しを算出

	6/7年	7/8年
1人当たり消費量(推計値) ①	54.4kg	53.8kg
	6年	7年
人口(推計値) ②	123,790千人	123,208千人
	6/7年	7/8年
需要見通し ①×②	673.8万トン	663.4万トン

注1：人口（推計値）は、令和6年にあつては「人口推計（総務省、令和6年10月公表）」の総人口（令和6年10月1日現在（概算値）。以下「令和6年10月現在人口」という。）、令和7年にあつては令和6年10月現在人口に「日本の将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所、令和5年4月公表）」の令和6年10月1日から令和7年10月1日までの総人口（出生中位・死亡中位推計）の減少率を乗じて算出した値。

注2：図中の需要見通しは、1人当たり消費量（推計値）の実数に、人口（推計値）の実数を乗じて算出した値のため、図中の1人当たり消費量（推計値）（小数点第2位を四捨五入）に人口（推計値）（小数点第1位を四捨五入）を乗じて算出した値とは一致しない。

表2 令和6/7年及び令和7/8年の需要見通し（推計値）

令和6/7年	674 万トン
令和7/8年	663 万トン

3 令和6/7年及び令和7/8年の需給見通し

（1）令和6/7年の需給見通し

令和6/7年の需給見通しは、表3のとおりです。

① 供給量

ア 令和6年6月末の民間在庫量（確定値）は、153 万トンです。

イ 令和6年産主食用米等の生産量は、679 万トン（令和6年産水稻の収穫量（主食用）（確報））です。

ウ この結果、令和6/7年の主食用米等の供給量の合計の見通しは、832 万トンとなります。

② 需要量

令和6/7年の主食用米等の需要量の見通しは、2により算出した 674 万トンです。

③ 令和7年6月末の民間在庫量

令和7年6月末の民間在庫量は、①の供給量及び②の需要量から算出して 158 万トンと見通されます。

（2）令和7/8年の需給見通し

令和7/8年の需給見通しは、表3のとおりです。

① 供給量

ア 令和7年6月末の民間在庫量は、（1）の③により 158 万トンと見通されます。

イ 令和7年産主食用米等の生産量の見通しは、令和6年10月の基本指針で設定した 683 万トンとします。

ウ この結果、令和7/8年の主食用米等の供給量の合計の見通しは、841 万トンとなります。

② 需要量

令和7/8年の主食用米等の需要量の見通しは、2により算出した 663 万トンです。

③ 令和8年6月末の民間在庫量

令和8年6月末の民間在庫量は、①の供給量及び②の需要量から算出して

178 万トンと見通されます。

表3 令和6/7年及び令和7/8年の主食用米等の需給見通し

(単位：万トン)

令和6/7年	令和6年6月末民間在庫量	A	153
	令和6年産主食用米等生産量	B	679
	令和6/7年主食用米等供給量計	$C = A + B$	832
	令和6/7年主食用米等需要量	D	674
	令和7年6月末民間在庫量	$E = C - D$	158

令和7/8年	令和7年6月末民間在庫量	E	158
	令和7年産主食用米等生産量	F	683
	令和7/8年主食用米等供給量計	$G = E + F$	841
	令和7/8年主食用米等需要量	H	663
	令和8年6月末民間在庫量	$I = G - H$	178

注1：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、第4の1の買付けを行ったSBS方式による輸入数量及び第4の2のSBS方式による輸入予定数量は含まれない。

注2：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

第3 米穀の備蓄の目標数量その他米穀の備蓄の運営に関する事項

1 備蓄運営の基本的な考え方

- (1) 政府が行う備蓄については、米穀の生産量の減少によりその供給が不足する事態に備え、必要な数量の米穀を在庫として保有することとされていることから、毎年6月末時点での在庫量100万トン程度を現行の適正水準として、需給状況を踏まえつつ必要な数量の米穀を保有することとします。

備蓄運営手法については、平成23年度から棚上備蓄方式に移行しました。

棚上備蓄方式による備蓄運営の基本的な考え方は、

- ① 適正備蓄水準は100万トン程度（6月末）
- ② 国内産米を一定期間（5年間程度）備蓄
- ③ 備蓄米の買入れは、出来秋の市場価格に影響を与えないよう事前契約によることを基本に、公正性・透明性を確保する観点から、一般競争入札により実施
また、「総合的なTPP等関連政策大綱」（平成29年11月24日TPP等総合対策本部決定）に基づき、環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（平成30年12月30日発効。以下「CPTPP協定」という。）に基づく豪州に対する国別枠の輸入量に相当する量の買入れを行う（なお、当該買入れは、その前年の1月から12月までに豪州から実際に輸入した数量に相当する量の当年産米に係る事前契約により行うものとする。上記に即して備蓄運営が行われた場合の基本的な買入数量は、20万トンから21万トンまでの

範囲となる。）。

④ 備蓄米は、備蓄後に飼料用等の非主食用として販売

なお、加工原材料用販売（従来から販売している備蓄米のうち精米形態で保管する米穀の販売を除く。）については、前年産の加工原材料用の国内産米の供給量が大きく減少し、米加工品製造業者による当年産への切替えの前倒し及び第４のミニマム・アクセス米への代替が行われてもなお端境期の供給が不足すると認められる場合において、当年８月以降の入札により行うものとする。

⑤ 大凶作や連続する不作などにより、民間在庫が著しく低下するなどの米が不足する時における備蓄米の放出については、食料・農業・農村政策審議会食糧部会において、放出の必要性に関し、作柄、在庫量、市場の状況、消費動向、価格及び物価動向等について総合的な観点から議論を行い、これを踏まえて、農林水産大臣が備蓄米の放出等を決定としています。

- （２）他方、毎年１１月３０日までに行う基本指針の見直し後、不作以外の災害等による緊急事態により、主食用米等の需給見通しに沿った「主食用米等供給量」の確保に支障が生じる場合であって、農林水産大臣が必要と認めるときは、その供給量の減少分を備蓄米により代替供給できることとします。
- （３）（１）の⑤の放出及び（２）の代替供給のほか、主食用米の円滑な流通に支障が生じる場合であって、農林水産大臣が必要と認めるときは、備蓄の円滑な運営を阻害しない範囲で、買受資格者に対する主食用としての備蓄米の売渡しを、政府が当該買受資格者から一定期間後（原則５年以内）に当該備蓄米と同等同量の国内産米の買入れを行うとの条件を付した上で、できることとします（買戻し条件付売渡し）。ただし、買受資格者が小売業者その他農産局長が定める者である場合においては、当該条件を付すことを要しないこととします。
- （４）なお、備蓄運営手法については、棚上備蓄方式による備蓄運営や、経営所得安定対策の実施状況など、今後の米穀の需給をめぐる状況を踏まえつつ、毎年検証を行い、適正かつ効率的な備蓄運営に向けて、今後とも必要な見直しを行うものとしてします。

２ 令和６／７年の備蓄運営

令和６年産米の備蓄米としての買入契約数量は１７万トンとなりました。

備蓄米の年産更新については、適正備蓄水準が１００万トン程度（６月末）であることを踏まえ、保有期間が一定の期間を経過している米については、必要に応じて品質確認を行い、９万トンから１７万トンまでの範囲内で非主食用に販売することとします。

以上を踏まえた令和６／７年の備蓄運営は、表４のとおりです。

表 4 令和 6 / 7 年の備蓄運営

(単位：万トン)

令和 6 年 6 月末備蓄量	A	91
令和 6 年産米買入契約数量	B	17
令和 6 / 7 年非主食用販売量	C	9～17
令和 7 年 6 月末備蓄量	$D = A + B - C$	91～99

第 4 米穀の輸入数量及びその種類別の数量に関する事項

我が国は、平成 7 年度からガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意に基づくミニマム・アクセス米の輸入を実施しており、この輸入は、「ガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意の実施に伴う農業施策に関する基本方針」（平成 5 年 12 月 17 日閣議了解）の趣旨を踏まえつつ行うこととしています。また、これに加えて、平成 30 年度から C P T P P 協定に基づく輸入を実施しています。いずれの輸入に当たっても、輸出国の輸出余力、国際相場等を勘案しながら適切に行うこととしています。

1 令和 6 会計年度の輸入状況

令和 6 会計年度においては、令和 6 年 3 月の基本指針に基づき、ガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意に基づく 77 万玄米トン（うち S B S（売買同時契約）方式による輸入 10 万トン）及び C P T P P 協定に基づく 6,960 トン（S B S 方式により運用する豪州に対する国別枠）の輸入を実施すべく、順次買付けを行いました。その結果、ガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意に基づく輸入について全量（うち S B S 方式による輸入 10 万トン）を買い付けるとともに、C P T P P 協定に基づく輸入についても全量を買い付けました。

2 令和 7 会計年度の輸入方針

令和 7 会計年度の輸入予定数量は、ガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意に基づく輸入については、W T O 農業交渉において新たな合意ができるまではミニマム・アクセス数量は平成 12 年度の水準が維持されることから、年間 77 万玄米トンとし、そのうち S B S 方式による輸入については、予定数量を年間 10 万トンとします。また、C P T P P 協定に基づく輸入については、S B S 方式により運用する豪州に対する国別枠として、予定数量を年間 7,200 トンとします。

参考統計表

参考統計表目次

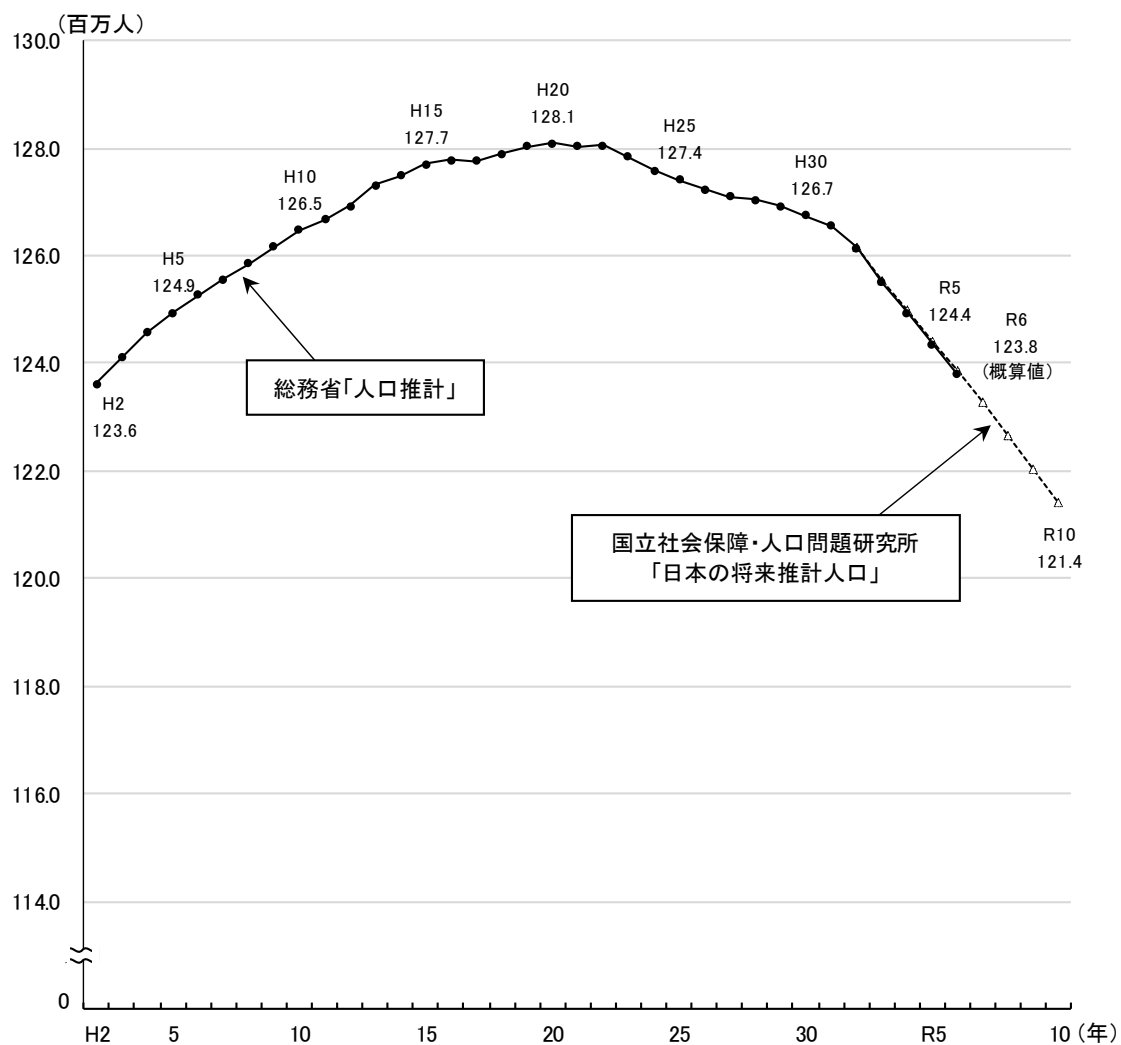
1	1 世帯当たりの米の購入数量（二人以上の世帯）	8
2	我が国の人口の推移（各年 10 月 1 日現在）	9
3	令和 6 年産水稻の作付面積及び収穫量（確報）	10
4	民間流通における 6 月末在庫の推移	11
5	政府備蓄米の 6 月末在庫の推移.....	12
6	政府備蓄米の在庫の状況（令和 6 年 6 月末現在）	13
7	ミニマム・アクセス米の販売状況（平成 7 年 4 月から令和 6 年 10 月末まで） （速報値）	14
8	平成 26/27 年から令和 5/6 年までの需要実績	15

1 1世帯当たりの米の購入数量（二人以上の世帯）

年	月	購入数量(kg)	対前年同月比(%)
2022 (令和4)	1	3.95	100.8
	2	4.14	100.5
	3	4.65	93.2
	4	4.54	94.4
	5	4.38	89.8
	6	4.28	90.5
	7	4.35	100.7
	8	4.35	85.5
	9	6.03	96.3
	10	7.24	97.6
	11	4.59	89.6
	12	4.85	92.9
2023 (令和5)	1	3.72	94.2
	2	4.06	98.1
	3	4.25	91.4
	4	4.51	99.3
	5	4.45	101.6
	6	4.23	98.8
	7	4.39	100.9
	8	4.44	102.1
	9	6.06	100.5
	10	6.75	93.2
	11	4.49	97.8
	12	5.29	109.1
2024 (令和6)	1	3.52	94.6
	2	3.92	96.6
	3	4.49	105.6
	4	4.38	97.1
	5	4.87	109.4
	6	4.64	109.7
	7	4.37	99.5
	8	5.73	129.1
	9	6.35	104.8
	10	7.65	113.3
	11	5.11	113.8
	12	5.21	98.5
2025(令和7)	1	3.76	106.8

資料：総務省 家計調査

2 我が国の人口の推移（各年 10 月 1 日現在）



注：将来推計人口は、出生中位・死亡中位推計の値である。

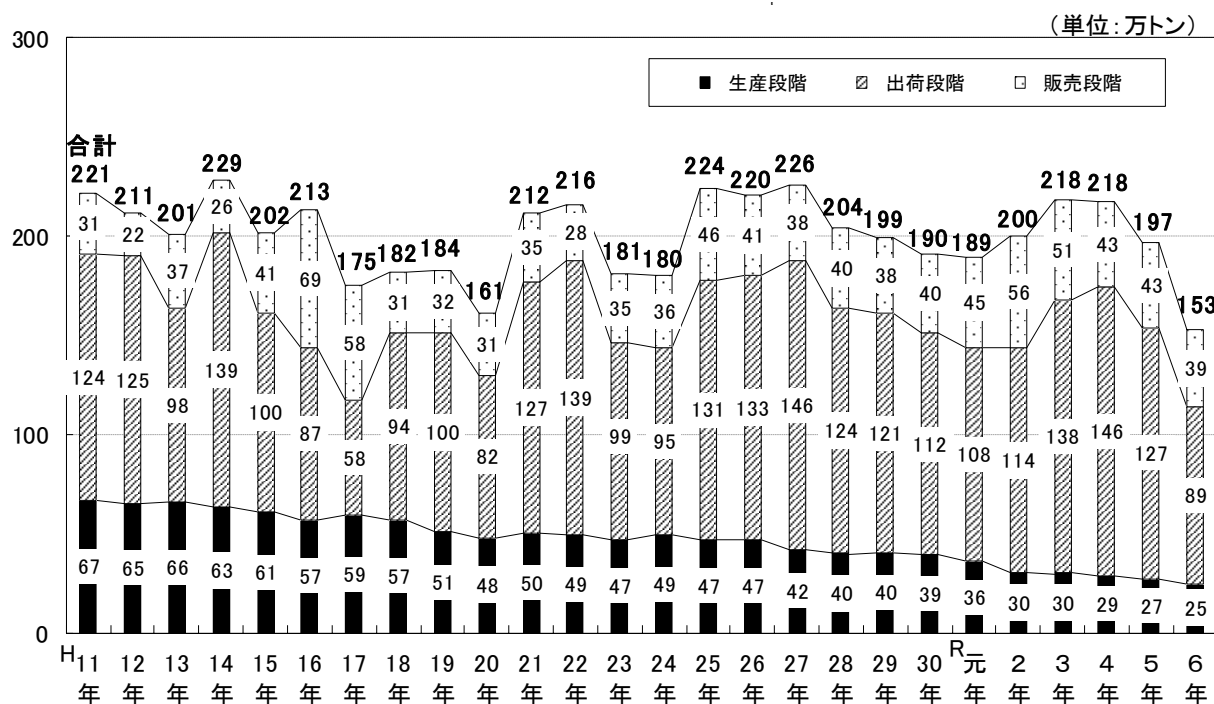
3 令和6年産水稻の作付面積及び収穫量（確報）

全 国 ・ 都道府県	作付面積 (子実用)	10 a 当たり 収量	農家等が使用している ふるい目幅で選別				収穫量 (子実用)	主 食 用 作 付 面 積	収 穫 量 (主 食 用)
			最も多い 使用割合 の 目 幅	10 a 当たり 収量	10 a 当たり 平年収量	作況指数			
	①	②					⑦=①×②	⑧	⑨=⑧×②
	ha	kg	mm	kg	kg		t	ha	t
全 国 (1)	1,359,000	540	...	519	513	101	7,345,000	1,259,000	6,792,000
北 海 道 (2)	95,000	592	1.90	562	544	103	562,400	83,700	495,500
青 森 (3)	42,400	623	1.90	598	578	103	264,200	37,200	231,800
岩 手 (4)	45,500	569	1.90	546	517	106	258,900	43,100	245,200
宮 城 (5)	62,800	583	1.90	550	516	107	366,100	58,400	340,500
秋 田 (6)	84,200	582	1.90	552	542	102	490,000	72,200	420,200
山 形 (7)	60,800	583	1.90	553	570	97	354,500	52,400	305,500
福 島 (8)	62,700	569	1.85	546	534	102	356,800	56,500	321,500
茨 城 (9)	62,500	542	1.85	523	506	103	338,800	59,900	324,700
栃 木 (10)	53,000	540	1.85	521	515	101	286,200	49,000	264,600
群 馬 (11)	14,300	499	1.80	483	482	100	71,400	12,800	63,900
埼 玉 (12)	29,600	476	1.80	463	479	97	140,900	28,400	135,200
千 葉 (13)	50,600	569	1.80	559	533	105	287,900	48,300	274,800
東 京 (14)	107	414	1.80	405	404	100	443	107	443
神 奈 川 (15)	2,840	481	1.80	463	475	97	13,700	2,840	13,700
新 潟 (16)	116,200	536	1.85	515	524	98	622,800	101,400	543,500
富 山 (17)	35,000	540	1.90	515	519	99	189,000	31,200	168,500
石 川 (18)	22,300	521	1.90	495	498	99	116,200	21,200	110,500
福 井 (19)	23,500	531	1.90	494	483	102	124,800	21,900	116,300
山 梨 (20)	4,680	534	1.85	518	516	100	25,000	4,590	24,500
長 野 (21)	30,300	620	1.85	604	599	101	187,900	29,000	179,800
岐 阜 (22)	21,100	483	1.80	474	475	100	101,900	19,600	94,700
静 岡 (23)	14,500	484	1.85	472	499	95	70,200	14,400	69,700
愛 知 (24)	26,200	497	1.85	480	484	99	130,200	25,000	124,300
三 重 (25)	24,900	485	1.85	468	478	98	120,800	24,500	118,800
滋 賀 (26)	28,400	517	1.90	484	483	100	146,800	27,400	141,700
京 都 (27)	13,600	527	1.85	512	492	104	71,700	13,000	68,500
大 阪 (28)	4,290	483	1.80	472	478	99	20,700	4,290	20,700
兵 庫 (29)	34,000	491	1.85	475	478	99	166,900	32,200	158,100
奈 良 (30)	8,000	526	1.80	517	500	103	42,100	7,960	41,900
和 歌 山 (31)	5,680	506	1.80	500	491	102	28,700	5,680	28,700
鳥 取 (32)	11,800	502	1.85	491	495	99	59,200	11,600	58,200
島 根 (33)	15,900	505	1.90	485	484	100	80,300	15,700	79,300
岡 山 (34)	28,000	510	1.85	496	499	99	142,800	27,200	138,700
広 島 (35)	20,600	526	1.85	515	508	101	108,400	20,100	105,700
山 口 (36)	16,800	513	1.85	497	481	103	86,200	15,800	81,100
徳 島 (37)	9,890	470	1.80	462	462	100	46,500	9,790	46,000
早期栽培 (38)	3,810	454	1.80	447	453	99	17,300	...	...
普通栽培 (39)	6,070	480	1.80	472	467	101	29,100	...	...
香 川 (40)	9,820	491	1.80	481	479	100	48,200	9,770	48,000
愛 媛 (41)	12,700	502	1.80	491	482	102	63,800	12,700	63,800
高 知 (42)	10,300	453	1.80	444	445	100	46,700	10,100	45,800
早期栽培 (43)	5,790	487	1.80	479	470	102	28,200	...	...
普通栽培 (44)	4,480	409	1.80	400	413	97	18,300	...	...
福 岡 (45)	32,600	467	1.85	442	452	98	152,200	32,200	150,400
佐 賀 (46)	22,400	505	1.85	482	487	99	113,100	22,000	111,100
長 崎 (47)	9,420	487	1.80	472	465	102	45,900	9,360	45,600
熊 本 (48)	29,700	516	1.85	487	479	102	153,300	28,800	148,600
大 分 (49)	18,000	491	1.85	459	454	101	88,400	17,800	87,400
宮 崎 (50)	14,500	481	1.80	467	482	97	69,700	12,400	59,600
早期栽培 (51)	5,410	470	1.80	461	471	98	25,400	...	...
普通栽培 (52)	9,100	487	1.80	470	489	96	44,300	...	...
鹿 児 島 (53)	17,100	470	1.80	454	470	97	80,400	15,600	73,300
早期栽培 (54)	3,860	446	1.80	437	452	97	17,200	...	...
普通栽培 (55)	13,200	477	1.80	458	476	96	63,000	...	...
沖 縄 (56)	599	326	1.80	319	305	105	1,950	557	1,820
第一期稲 (57)	445	366	1.80	360	343	105	1,630	...	...
第二期稲 (58)	154	210	1.80	198	182	109	323	...	...

資料：農林水産省調べ

- 注1：作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。
- 2：10 a 当たり収量（②）、収穫量（子実用）（⑦）及び収穫量（主食用）（⑨）は、1.70 mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3：全国の計の値は、収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については、都道府県ごとの積上げ値である。
- 4：10 a 当たり収量（④）、10 a 当たり平年収量（⑤）及び作況指数（⑥）については、都道府県ごとに、過去5年間に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
- 5：主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 6：徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

4 民間流通における6月末在庫の推移



資料：農林水産省調べ

注1：うるち玄米及びもち玄米の値である。

2：各年の民間在庫量において、

① 平成16年以降については、年間玄米取扱数量500トン以上の業者(販売・出荷段階)の数量である。

② 平成15年については、

・ 販売段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の旧登録卸売業者と1,000トン以上の旧登録小売業者の数量である。

・ 出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の業者の数量である。

③ 平成14年以前については推計値であり、

・ 販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量(推計)を加えた数量である。

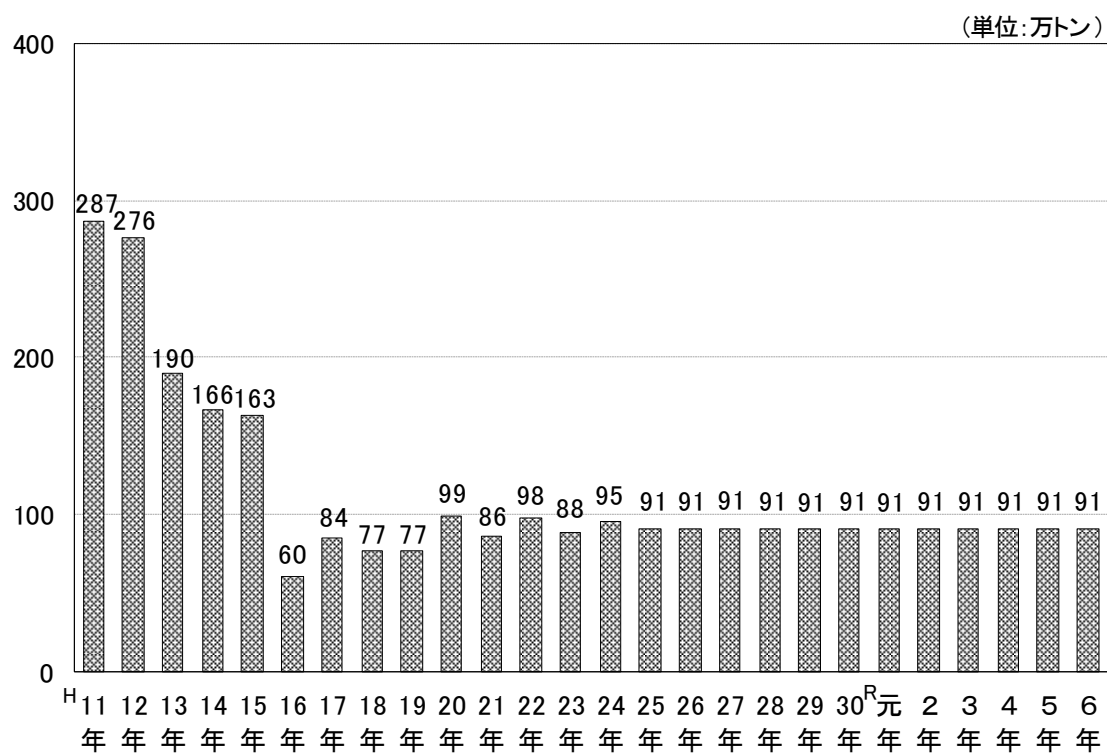
・ 出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量(推計)を加えた数量である。

④ 生産段階の在庫量は、平成11年～平成21年は「生産者の米穀現在高等調査」を基に算出した在庫量から精米在庫量(推計)を控除した玄米在庫量であり、平成22年～平成30年は「生産者の米穀在庫等調査」を基に算出した在庫量である。令和元年は「生産者の米穀在庫等調査」の見直しに伴い、過去のデータを用いたトレンドで算出した数量である。令和2年～令和4年は「生産者の米穀在庫等調査」の対前年増減率等を基に算出した在庫量である。令和5年は「生産者の米穀在庫等調査」の見直しに伴い、過去のデータを用いたトレンドで算出した数量である。令和6年は「生産者の米穀在庫等調査」の対前年増減率等を基に算出した在庫量である。

3：平成26年の出荷段階の在庫量は、公益社団法人米穀安定供給確保支援機構の買入数量35万トンを含んでいない。

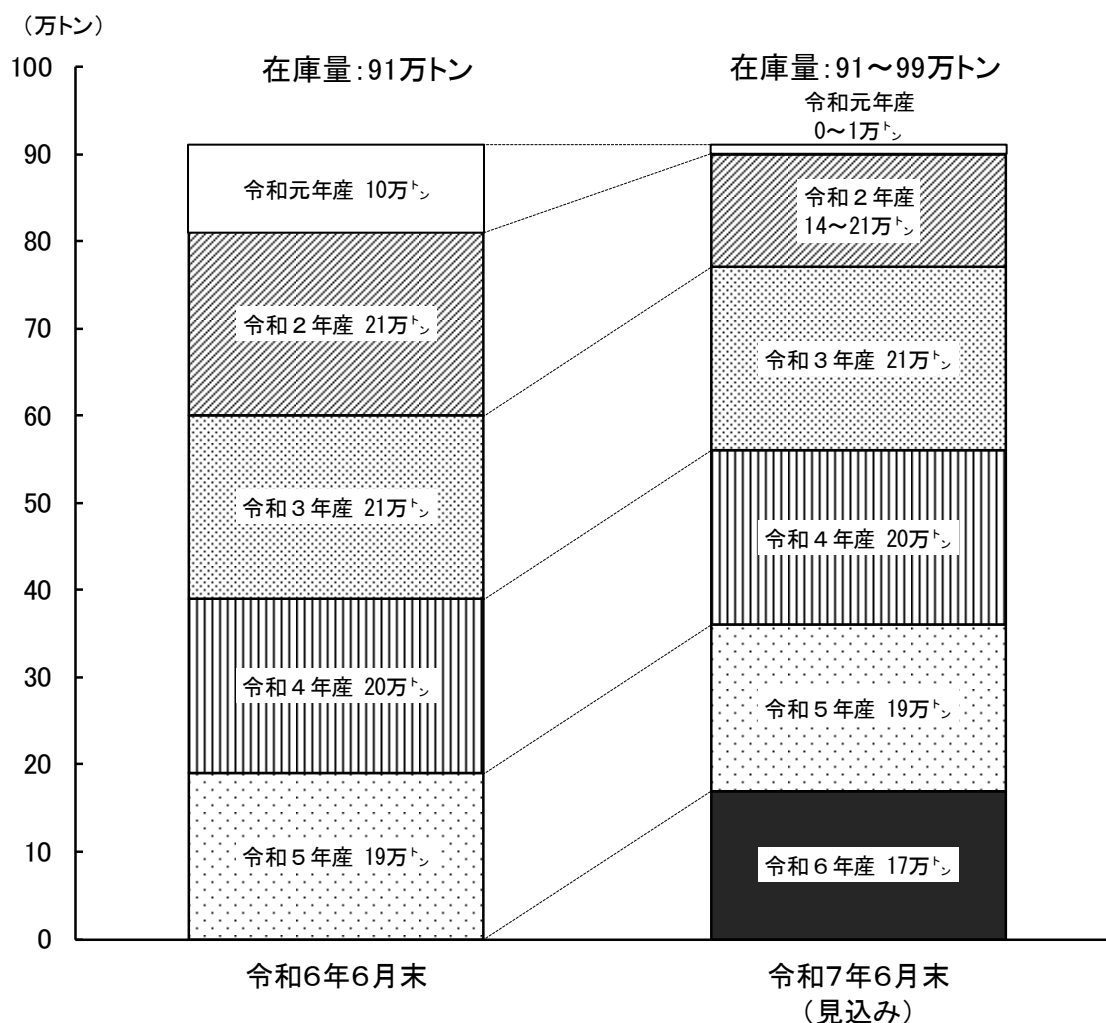
4：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

5 政府備蓄米の6月末在庫の推移



注：国産うるち玄米の数量である。

6 政府備蓄米の在庫の状況（令和6年6月末現在）



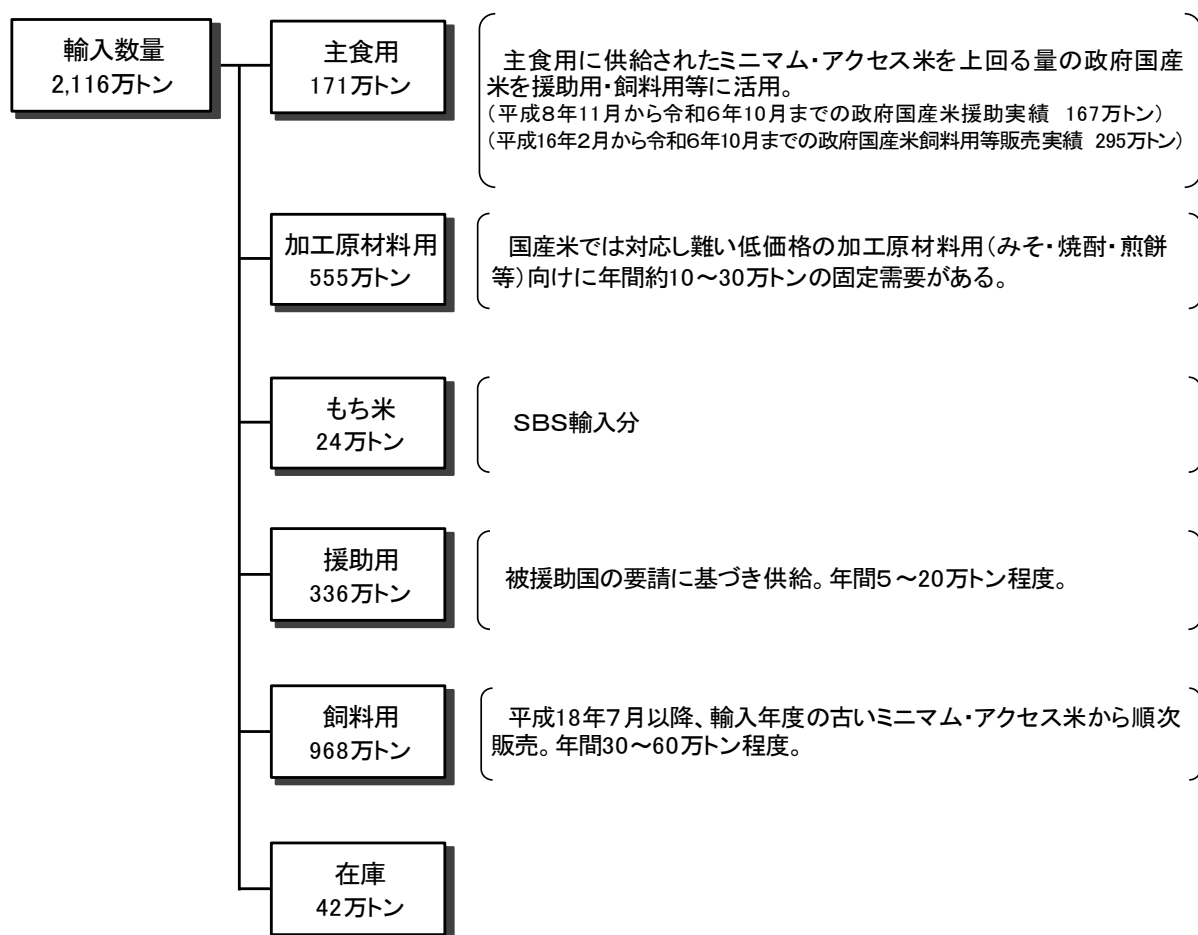
注1：国産うるち玄米の数量である。

2：令和7年産の買入予定数量は、「備蓄運営の基本的な考え方」に即した場合、20～21万トンとなる。

また、令和8年6月末の政府備蓄米の在庫の状況（見込み）については、令和2年産は0～2万トン、令和3年産は14～21万トン、令和4年産は20万トン、令和5年産は19万トン、令和6年産は17万トン、令和7年産は20～21万トンの計91～99万トンとなる。

3：ラウンドの関係で在庫量と内訳が一致しない場合がある。

7 ミニマム・アクセス米の販売状況（平成7年4月から令和6年10月末まで）（速報値）



資料：農林水産省調べ

注1：輸入数量は、令和6年10月末時点での政府買入実績である。

注2：上記販売用途のほか、食用不適品として処理した4万トン、バイオエタノール用へ販売した16万トンがある。

注3：在庫42万トンには、飼料用備蓄35万トンが含まれる。

注4：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

8 平成26/27年から令和5/6年までの需要実績

○平成26/27年（平成26年7月から平成27年6月まで）

	(単位:トン)			
	26年6月末在庫 ①	26/27年供給量 ②	27年6月末在庫 ③	全体需要量 ④=①+②-③
全 国	2,201,000	7,882,000	2,258,000	7,825,000
北海道	181,878	600,150	212,036	569,793
青 森	96,412	257,275	101,438	252,250
岩 手	90,251	288,678	96,607	282,321
宮 城	118,383	380,383	161,756	337,010
秋 田	134,173	455,503	177,483	412,193
山 形	143,100	381,869	154,861	370,108
福 島	93,099	350,535	107,739	335,894
茨 城	90,175	396,780	92,391	394,563
栃 木	123,453	313,148	128,617	307,983
群 馬	26,771	79,384	24,132	82,024
埼 玉	19,921	169,614	29,763	159,772
千 葉	72,019	325,733	70,379	327,373
東 京	91	661	86	666
神奈川	2,273	15,700	2,407	15,566
新 潟	125,405	576,014	129,710	571,709
富 山	48,103	192,555	39,179	201,479
石 川	26,473	122,872	30,491	118,854
福 井	31,864	125,719	25,368	132,214
山 梨	6,612	27,516	5,882	28,246
長 野	50,983	195,643	49,664	196,962
岐 阜	39,114	113,742	35,642	117,214
静 岡	14,913	85,578	13,266	87,224
愛 知	35,271	143,425	30,998	147,698
三 重	20,590	142,068	22,003	140,655
滋 賀	40,033	156,881	33,337	163,577
京 都	14,672	75,412	14,685	75,399
大 阪	4,505	27,477	6,341	25,641
兵 庫	36,240	177,508	31,244	182,504
奈 良	11,171	46,464	12,116	45,520
和歌山	5,549	35,600	5,061	36,088
鳥 取	22,231	65,107	18,980	68,359
島 根	23,594	91,737	27,246	88,085
岡 山	46,454	153,360	40,253	159,561
広 島	29,399	122,843	25,981	126,260
山 口	23,895	103,860	24,296	103,459
徳 島	9,279	57,667	7,175	59,771
香 川	19,060	66,298	15,497	69,861
愛 媛	13,238	73,006	14,398	71,846
高 知	8,702	55,295	5,765	58,232
福 岡	39,754	176,323	44,003	172,075
佐 賀	36,520	121,251	37,964	119,807
長 崎	11,774	60,963	11,213	61,524
熊 本	42,496	180,322	34,299	188,519
大 分	22,270	110,986	20,027	113,229
宮 崎	16,667	84,767	11,859	89,575
鹿児島	31,999	102,108	22,122	111,985
沖 縄	34	2,240	72	2,202

○平成28/29年（平成28年7月から平成29年6月まで）

	(単位:トン)			
	28年6月末在庫 ①	28/29年供給量 ②	29年6月末在庫 ③	全体需要量 ④=①+②-③
全 国	2,038,000	7,496,000	1,994,000	7,540,000
北海道	200,639	545,984	171,252	575,371
青 森	88,661	222,549	83,350	227,860
岩 手	97,495	254,293	90,985	260,803
宮 城	119,697	352,944	121,126	351,515
秋 田	127,748	411,639	125,772	413,615
山 形	123,159	345,769	118,490	350,438
福 島	108,662	333,278	129,363	312,578
茨 城	83,154	350,045	67,382	365,816
栃 木	120,442	295,173	97,343	318,271
群 馬	23,002	70,903	21,611	72,293
埼 玉	23,678	154,088	24,355	153,411
千 葉	50,262	295,727	44,353	301,636
東 京	113	627	95	644
神奈川	1,853	15,400	2,388	14,865
新 潟	130,508	593,449	163,221	560,736
富 山	44,275	192,258	51,731	184,802
石 川	31,350	123,988	30,344	124,994
福 井	27,982	126,590	29,325	125,247
山 梨	6,000	27,005	6,600	26,405
長 野	42,139	197,665	49,304	190,501
岐 阜	30,114	105,691	26,828	108,977
静 岡	11,975	83,164	12,743	82,396
愛 知	28,025	140,194	28,979	139,239
三 重	21,595	141,535	20,381	142,749
滋 賀	30,086	161,498	33,327	158,258
京 都	15,874	73,534	15,367	74,041
大 阪	6,114	26,778	6,113	26,779
兵 庫	34,791	177,321	36,461	175,650
奈 良	8,427	45,543	9,318	44,652
和歌山	4,099	34,100	2,774	35,425
鳥 取	18,273	64,860	17,952	65,181
島 根	17,108	91,359	18,353	90,114
岡 山	35,532	155,262	33,381	157,414
広 島	28,644	124,649	30,272	123,021
山 口	23,355	101,947	22,545	102,756
徳 島	5,132	56,499	5,956	56,675
香 川	12,605	66,734	14,052	65,286
愛 媛	13,791	71,969	12,640	73,119
高 知	6,680	53,578	8,621	51,638
福 岡	40,384	177,386	43,543	174,227
佐 賀	41,230	127,872	36,001	133,101
長 崎	11,788	59,372	10,597	60,563
熊 本	39,523	171,402	44,393	166,533
大 分	17,489	106,371	18,594	105,266
宮 崎	12,103	76,880	13,518	75,465
鹿児島	21,341	97,501	19,847	98,995
沖 縄	105	2,300	118	2,286

○平成27/28年（平成27年7月から平成28年6月まで）

	(単位:トン)			
	27年6月末在庫 ①	27/28年供給量 ②	28年6月末在庫 ③	全体需要量 ④=①+②-③
全 国	2,258,000	7,442,000	2,038,000	7,662,000
北海道	212,036	561,244	200,639	572,642
青 森	101,438	230,036	88,661	242,813
岩 手	96,607	270,222	97,495	269,334
宮 城	161,756	348,694	119,697	390,753
秋 田	177,483	420,919	127,748	470,654
山 形	154,861	354,958	123,159	386,659
福 島	107,739	342,613	108,662	341,690
茨 城	92,391	345,427	83,154	354,664
栃 木	128,617	287,162	120,442	295,337
群 馬	24,132	70,360	23,002	71,490
埼 玉	29,763	151,984	23,678	158,069
千 葉	70,379	297,484	50,262	317,601
東 京	86	632	113	604
神奈川	2,407	15,200	1,853	15,754
新 潟	129,710	538,941	130,508	538,143
富 山	39,179	192,257	44,275	187,161
石 川	30,491	123,235	31,350	122,375
福 井	25,368	124,126	27,982	121,513
山 梨	5,882	26,854	6,000	26,736
長 野	49,664	194,586	42,139	202,110
岐 阜	35,642	106,027	30,114	111,554
静 岡	13,266	81,176	11,975	82,467
愛 知	30,998	137,013	28,025	139,987
三 重	22,003	136,109	21,595	136,517
滋 賀	33,337	158,090	30,086	161,342
京 都	14,685	73,600	15,874	72,411
大 阪	6,341	26,877	6,114	27,104
兵 庫	31,244	178,693	34,791	175,146
奈 良	12,116	45,561	8,427	49,249
和歌山	5,061	34,400	4,099	35,362
鳥 取	18,980	63,744	18,273	64,451
島 根	27,246	88,060	17,108	98,117
岡 山	40,253	149,387	35,532	154,108
広 島	25,981	121,903	28,644	119,240
山 口	24,296	100,710	23,355	101,650
徳 島	7,175	53,326	5,132	55,370
香 川	15,497	63,439	12,605	66,332
愛 媛	14,398	70,771	13,791	71,378
高 知	5,765	52,911	6,680	51,996
福 岡	44,003	172,173	40,384	175,792
佐 賀	37,964	128,276	41,230	125,011
長 崎	11,213	59,765	11,788	59,191
熊 本	34,299	171,010	39,523	165,786
大 分	20,027	103,682	17,489	106,220
宮 崎	11,859	74,828	12,103	74,584
鹿児島	22,122	95,279	21,341	96,060
沖 縄	72	2,320	105	2,287

○平成29/30年（平成29年7月から平成30年6月まで）

	(単位:トン)			
	29年6月末在庫	29/30年供給量	30年6月末在庫	全体需要量
	①	②	③	④=①+②-③
全 国	1,994,000	7,306,000	1,904,000	7,396,000
北海道	171,252	552,663	207,788	516,128
青 森	83,350	226,252	91,573	218,029
岩 手	90,985	250,815	79,743	262,058
宮 城	121,126	339,717	108,904	351,940
秋 田	125,772	400,054	126,438	399,388
山 形	118,490	337,311	97,196	358,606
福 島	129,363	327,715	126,141	330,938
茨 城	67,382	348,759	69,838	346,302
栃 木	97,343	273,107	91,244	279,206
群 馬	21,611	69,167	24,771	66,007
埼 玉	24,355	151,573	24,068	151,860
千 葉	44,353	289,934	51,819	282,468
東 京	95	580	75	600
神奈川	2,388	15,700	2,296	15,792
新 潟	163,221	526,719	119,051	570,889
富 山	51,731	181,950	38,983	194,697
石 川	30,344	120,201	23,772	126,774
福 井	29,325	122,718	25,987	126,056
山 梨	6,600	26,820	5,549	27,872
長 野	49,304	196,901	46,919	199,286
岐 阜	26,828	104,909	25,733	106,004
静 岡	12,743	80,319	10,662	82,400
愛 知	28,979	136,819	30,111	135,688
三 重	20,381	128,853	17,073	132,161
滋 賀	33,327	155,283	27,350	161,260
京 都	15,367	72,208	13,729	73,846
大 阪	6,113	26,079	5,951	26,241
兵 庫	36,461	175,992	35,352	177,100
奈 良	9,318	44,774	10,019	44,074
和歌山	2,774	33,299	2,641	33,432
鳥 取	17,952	64,455	20,458	61,949
島 根	18,353	88,875	18,015	89,214
岡 山	33,381	157,791	40,198	150,973
広 島	30,272	123,665	25,116	128,821
山 口	22,545	100,790	23,848	99,487
徳 島	5,956	53,866	7,648	52,174
香 川	14,052	61,772	12,214	63,609
愛 媛	12,640	70,347	11,038	71,949
高 知	8,621	54,172	8,053	54,739
福 岡	43,543	178,897	39,220	183,219
佐 賀	36,001	129,646	43,330	122,317
長 崎	57,993	57,993	9,389	58,505
熊 本	44,983	169,693	42,482	172,194
大 分	18,594	105,623	18,989	105,227
崎 玉	13,518	74,911	11,533	76,896
鹿 児 島	19,847	95,280	18,778	96,409
油 岐	118	2,190	108	2,200

○平成 30/令和元年（平成 30 年 7 月から令和元年 6 月まで）

(単位:トン)				
	30年6月末在庫 ①	30/元年供給量 ②	元年6月末在庫 ③	全体需要量 ④=①+②-③
全 国	1,904,000	7,327,000	1,885,000	7,346,000
北 海 道	207,788	489,463	190,891	506,359
青 森	91,573	235,311	85,350	241,534
岩 手	79,743	265,089	81,486	263,346
宮 城	109,904	356,421	106,570	359,754
秋 田	126,438	420,403	110,080	436,760
山 形	97,196	328,731	80,862	345,065
福 島	126,141	343,100	120,231	349,010
茨 城	69,838	349,717	65,349	354,206
栃 木	91,244	301,284	97,110	295,417
群 馬	24,771	69,953	24,149	70,575
埼 玉	24,068	150,626	21,177	153,517
千 葉	51,819	291,703	47,929	295,593
東 京	75	555	73	557
神 奈 川	2,296	15,200	2,147	15,349
新 潟	119,051	556,970	113,051	562,969
富 山	38,993	184,666	38,605	185,044
石 川	23,772	120,157	27,357	116,573
福 井	25,987	125,074	31,944	119,117
山 梨	5,549	26,179	5,763	25,965
長 野	46,919	193,794	40,181	200,532
岐 阜	25,733	102,865	21,875	106,722
静 岡	10,662	79,312	10,275	79,699
愛 知	30,111	133,598	26,477	137,231
三 重	17,073	135,450	20,244	132,279
滋 賀	27,350	154,818	33,341	148,827
京 都	13,729	70,131	12,355	71,506
大 阪	5,951	24,678	5,186	25,443
兵 庫	35,352	178,726	34,427	179,651
奈 良	10,019	43,880	9,883	44,016
和 歌 山	2,641	31,600	2,230	32,011
鳥 取	20,458	63,269	18,288	65,439
島 根	18,015	90,341	18,338	90,018
岡 山	40,198	152,746	37,395	155,549
広 島	25,116	120,476	25,115	120,477
山 口	23,848	98,727	24,936	97,639
徳 島	7,648	52,530	6,814	53,364
香 川	12,214	59,684	13,223	58,675
愛 媛	11,038	68,951	10,385	69,604
高 知	8,053	50,323	6,495	51,882
福 岡	39,220	180,498	40,680	179,039
佐 賀	43,330	127,590	41,719	129,201
長 崎	9,389	57,325	9,794	56,919
熊 本	42,642	171,109	46,709	167,041
大 分	18,989	103,035	18,279	103,745
宮 崎	11,533	72,581	11,695	72,418
鹿 児 島	18,718	87,854	21,066	85,507
沖 縄	108	2,200	466	1,842

○令和元/2 年（令和元年 7 月から令和 2 年 6 月まで）

(単位:トン)					
	元年6月末在庫 ①	元/2年供給量 ②	2年6月末在庫 ③	台風等被害 ④	全体需要量 ⑤=①+②-③-④
全 国	1,885,000	7,261,000	1,998,000	4,500	7,143,500
北 海 道	190,891	554,890	190,904		554,978
青 森	85,350	247,012	102,971		229,391
岩 手	81,486	267,961	106,156	42	243,249
宮 城	106,570	358,061	129,162	1,614	333,856
秋 田	110,080	452,587	129,211		433,456
山 形	80,862	359,207	113,953	21	326,095
福 島	120,231	338,953	142,886	1,075	315,223
茨 城	65,349	334,203	71,304	786	327,462
栃 木	97,110	288,988	92,670	426	293,002
群 馬	24,149	65,849	18,330		71,667
埼 玉	21,177	148,665	20,402	151	149,288
千 葉	47,929	276,419	39,971	116	284,261
東 京	73	519	59		533
神 奈 川	2,147	14,299	2,059		14,387
新 潟	113,051	577,726	145,846	2	544,929
富 山	38,605	184,855	40,343		183,117
石 川	27,357	121,349	25,879		122,826
福 井	31,944	122,408	33,839		120,512
山 梨	5,763	26,108	5,554		26,317
長 野	40,181	192,032	52,837	293	179,083
岐 阜	21,875	103,201	26,190		98,886
静 岡	10,275	80,446	11,084		79,637
愛 知	26,477	132,565	25,986		133,057
三 重	20,244	128,302	19,407		129,139
滋 賀	33,341	154,163	31,385		156,119
京 都	12,355	69,982	11,843		70,494
大 阪	5,186	24,273	4,547		24,913
兵 庫	34,427	179,299	33,868		179,858
奈 良	9,883	43,475	9,876		43,482
和 歌 山	2,230	31,398	2,096		31,532
鳥 取	18,288	64,804	19,488		63,604
島 根	18,338	85,738	15,102		88,974
岡 山	37,395	152,177	39,469		150,103
広 島	25,115	110,832	23,233		112,714
山 口	24,936	87,319	20,788		91,467
徳 島	6,814	50,963	6,643		51,134
香 川	13,223	56,237	11,688		57,772
愛 媛	10,385	63,665	8,774		65,276
高 知	6,495	47,512	6,009		47,998
福 岡	40,680	156,510	30,740		166,450
佐 賀	41,719	70,276	30,951		81,044
長 崎	9,794	51,813	7,529		54,078
熊 本	46,709	155,966	34,975		167,700
大 分	18,279	88,888	13,035		94,133
宮 崎	11,695	67,579	9,831		69,443
鹿 児 島	21,066	83,000	17,843		86,223
沖 縄	466	1,976	441		2,000

○令和 2/3 年（令和 2 年 7 月から令和 3 年 6 月まで）

(単位:トン)				
	2年6月末在庫 ①	2/3年供給量 ②	3年6月末在庫 ③	全体需要量 ④=①+②-③
全 国	1,998,000	7,226,000	2,184,000	7,040,000
北 海 道	190,904	556,376	241,831	505,448
青 森	102,971	240,389	109,140	234,220
岩 手	106,156	267,245	110,000	263,402
宮 城	129,162	356,193	153,268	332,086
秋 田	129,211	455,597	141,724	443,083
山 形	113,953	352,790	120,784	345,959
福 島	142,886	332,706	132,227	343,365
茨 城	71,304	347,932	78,416	340,820
栃 木	92,670	295,592	127,105	261,157
群 馬	18,330	67,490	20,117	65,703
埼 玉	20,402	151,981	28,135	144,248
千 葉	39,971	281,290	61,603	259,658
東 京	59	496	58	497
神 奈 川	2,059	14,200	1,966	14,293
新 潟	145,846	596,741	150,387	592,200
富 山	40,343	184,817	52,932	172,227
石 川	25,879	120,115	34,610	111,384
福 井	33,839	121,272	31,522	123,589
山 梨	5,554	25,413	5,047	25,920
長 野	52,837	186,518	53,175	186,180
岐 阜	26,190	100,737	23,078	103,850
静 岡	11,084	73,356	10,073	74,367
愛 知	25,986	129,170	25,919	129,236
三 重	19,407	128,260	19,863	127,804
滋 賀	31,385	151,740	34,827	148,299
京 都	11,843	68,958	13,700	67,100
大 阪	4,547	22,174	4,169	22,552
兵 庫	33,868	169,921	35,251	168,538
奈 良	9,876	40,689	8,843	41,722
和 歌 山	2,096	28,896	1,951	29,042
鳥 取	19,488	65,510	22,381	62,618
島 根	15,102	85,542	17,720	82,924
岡 山	39,469	147,112	38,547	148,034
広 島	23,233	109,908	25,578	107,562
山 口	20,788	69,191	14,067	75,912
徳 島	6,643	51,495	7,878	50,260
香 川	11,688	57,768	12,722	56,733
愛 媛	8,774	63,161	9,015	62,920
高 知	6,009	48,483	6,371	48,120
福 岡	30,740	142,820	29,867	143,694
佐 賀	30,951	102,161	29,017	104,095
長 崎	7,529	46,716	7,463	46,783
熊 本	34,975	151,591	36,144	150,423
大 分	13,035	80,692	12,726	81,000
宮 崎	9,831	67,666	10,204	67,293
鹿 児 島	17,843	81,546	19,172	80,217
沖 縄	441	2,029	515	1,955

○令和 3/4 年（令和 3 年 7 月から令和 4 年 6 月まで）

(単位:トン)				
	3年6月末在庫	3/4年供給量	4年6月末在庫	全体需要量
	①	②	③	④=①+②-③
全 国	2,184,000	7,007,000	2,176,000	7,015,000
北海道	241,831	531,123	238,910	534,044
青 森	109,140	210,291	85,430	234,001
岩 手	110,000	256,148	112,463	253,685
宮 城	153,268	333,566	141,652	345,182
秋 田	141,724	423,474	147,582	417,618
山 形	120,784	344,919	117,937	347,766
福 島	132,227	302,928	111,408	323,746
茨 城	78,416	333,745	79,289	332,872
栃 木	127,105	277,763	129,577	275,292
群 馬	20,117	63,950	19,885	64,182
埼 玉	28,135	146,433	26,126	148,443
千 葉	61,603	263,712	44,710	280,605
東 京	58	486	56	489
神 奈 川	1,966	14,400	2,059	14,308
新 潟	150,387	536,604	132,258	553,734
富 山	52,932	177,733	45,520	185,145
石 川	34,610	112,870	34,796	112,684
福 井	31,522	115,933	30,325	117,131
山 梨	5,047	25,339	4,796	25,590
長 野	53,175	183,798	51,046	185,928
岐 阜	23,078	99,283	26,560	95,801
静 岡	10,073	76,637	11,097	75,613
愛 知	25,919	127,519	26,943	126,495
三 重	19,863	128,483	21,519	126,827
滋 賀	34,827	150,171	35,235	149,763
京 都	13,700	68,583	10,771	71,513
大 阪	4,169	22,574	4,401	22,342
兵 庫	35,251	171,247	34,379	172,118
奈 良	8,843	42,965	10,532	41,276
和 歌 山	1,951	30,296	2,274	29,973
鳥 取	22,381	63,053	24,232	61,202
島 根	17,720	85,722	19,815	83,627
岡 山	38,547	146,871	35,768	149,650
広 島	25,578	113,415	30,080	108,913
山 口	14,067	87,991	25,204	76,854
徳 島	7,878	46,377	7,103	47,152
香 川	12,722	56,378	14,012	55,088
愛 媛	9,015	67,086	11,434	64,667
高 知	6,371	49,169	7,432	48,108
福 岡	29,867	160,707	48,120	142,454
佐 賀	29,017	116,291	43,101	102,207
長 崎	7,463	50,700	10,887	47,276
熊本	36,144	150,227	41,469	144,902
大 分	12,726	94,671	18,638	88,759
宮 崎	10,204	66,926	15,075	62,055
鹿 児 島	19,172	82,077	22,920	78,329
那 覇	515	2,034	539	2,010

○令和4/5年（令和4年7月から令和5年6月まで）

○令和5/6年（令和5年7月から令和6年6月まで）

(単位:トン)				
	4年6月末在庫 ①	4/5年供給量 ②	5年6月末在庫 ③	全体需要量 ④=①+②-③
全 国	2,176,000	6,701,000	1,966,000	6,911,000
北海道	238,910	492,410	197,649	533,671
青 森	85,430	199,761	82,685	202,506
岩 手	112,463	234,467	93,712	253,218
宮 城	141,652	306,422	116,809	331,266
秋 田	147,582	382,107	110,100	419,589
山 形	117,937	312,873	108,951	321,859
福 島	111,408	285,160	103,536	293,032
茨 城	79,289	310,169	78,383	311,075
栃 木	129,577	245,152	100,335	274,393
群 馬	19,885	62,675	22,884	59,676
埼 玉	26,126	136,502	26,131	136,497
千 葉	44,710	246,804	35,697	255,817
東 京	56	484	54	486
神奈川	2,059	14,400	2,061	14,398
新 潟	133,258	543,588	140,428	536,418
富 山	45,520	174,572	49,113	170,979
石 川	34,796	110,303	34,397	110,702
福 井	30,325	111,216	25,296	116,245
山 梨	4,796	24,992	5,096	24,693
長 野	51,046	180,898	49,608	182,335
岐 阜	26,560	97,670	29,285	94,945
静 岡	11,097	75,936	11,211	75,822
愛 知	26,943	127,909	26,221	128,631
三 重	21,519	129,195	17,585	133,128
滋 賀	35,235	145,507	32,071	148,671
京 都	10,771	68,937	10,742	68,966
大 阪	4,401	22,774	4,487	22,689
兵 庫	34,379	172,343	34,039	172,683
奈 良	10,532	43,608	11,697	42,443
和歌山	2,274	30,996	2,933	30,337
鳥 取	24,232	61,580	18,230	67,582
島 根	19,815	83,388	19,104	84,099
岡 山	35,768	143,145	34,745	144,167
広 島	30,080	111,783	27,939	113,924
山 口	25,204	87,309	27,546	84,967
徳 島	7,103	46,077	5,947	47,233
香 川	14,012	55,211	11,238	57,985
愛 媛	11,434	68,406	13,966	65,874
高 知	7,432	49,183	7,064	49,551
福 岡	48,120	160,956	44,526	164,550
佐 賀	43,101	114,631	41,133	116,599
長 崎	10,887	48,828	8,652	51,063
熊 本	41,469	150,881	34,770	157,581
大 分	18,638	92,470	16,798	94,309
宮 崎	15,075	65,220	11,129	69,165
鹿児島	22,920	79,147	23,523	78,544
沖 縄	539	1,825	505	1,858

(単位:トン)				
	5年6月末在庫 ①	5/6年供給量 ②	6年6月末在庫 ③	全体需要量 ④=①+②-③
全 国	1,966,000	6,610,000	1,527,000	7,049,000
北海道	197,649	478,803	142,486	533,967
青 森	82,685	208,000	58,803	231,882
岩 手	93,712	236,200	77,883	252,030
宮 城	116,809	324,639	90,874	350,574
秋 田	110,100	385,738	83,128	412,709
山 形	108,951	308,478	85,791	331,638
福 島	103,536	298,348	94,015	307,870
茨 城	78,383	306,109	57,155	327,338
栃 木	100,335	262,047	83,238	279,144
群 馬	22,884	62,302	15,612	69,574
埼 玉	26,131	132,391	16,254	142,269
千 葉	35,697	254,846	28,049	262,493
東 京	54	465	51	467
神奈川	2,061	14,200	1,944	14,317
新 潟	140,428	511,781	121,341	530,867
富 山	49,113	164,284	37,458	175,938
石 川	34,397	107,779	28,905	113,270
福 井	25,296	106,939	19,168	113,067
山 梨	5,096	25,212	4,682	25,626
長 野	49,608	180,257	44,654	185,211
岐 阜	29,285	95,610	19,506	105,389
静 岡	11,211	77,787	9,317	79,681
愛 知	26,221	118,572	20,122	124,670
三 重	17,585	124,626	13,485	128,727
滋 賀	32,071	137,028	20,870	148,229
京 都	10,742	66,252	7,908	69,086
大 阪	4,487	22,275	3,661	23,100
兵 庫	34,039	165,611	29,973	169,678
奈 良	11,697	42,473	8,379	45,791
和歌山	2,933	29,196	1,967	30,162
鳥 取	18,230	56,507	15,218	59,518
島 根	19,104	81,403	12,573	87,934
岡 山	34,745	138,797	27,556	145,987
広 島	27,939	110,222	19,697	118,464
山 口	27,546	81,872	17,694	91,724
徳 島	5,947	44,419	3,824	46,541
香 川	11,238	50,178	7,369	54,047
愛 媛	13,966	64,394	10,177	68,182
高 知	7,064	46,295	6,086	47,274
福 岡	44,526	154,504	33,998	165,033
佐 賀	41,133	113,145	33,903	120,375
長 崎	8,652	48,717	7,248	50,121
熊 本	34,770	149,591	30,796	153,564
大 分	16,798	89,013	12,259	93,552
宮 崎	11,129	60,691	7,043	64,778
鹿児島	23,523	76,650	13,948	86,226
沖 縄	505	1,732	454	1,783

- 注1：令和元/2年の都道府県別の需要量に、台風等被害分4.5千トン含まれていない。
- 2：全国欄は、産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、都道府県の合計と一致しない。
- 3：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

令和7年5月時点の主食用米等の令和6／7年及び令和7／8年の需給見通し

令和7年5月 基本指針

【令和6／7年の主食用米等の需給見通し】

		(万トン(玄米))
令和6／7年	令和6年6月末民間在庫量 A	153
	令和6年産主食用米等生産量 B	679
	令和6／7年主食用米等供給量計 C=A+B	832
	令和6／7年主食用米等需要量 D	674
	令和7年6月末民間在庫量 E=C-D	158

【令和7／8年の主食用米等の需給見通し】

		(万トン(玄米))
令和7／8年	令和7年6月末民間在庫量 E	158
	令和7年産主食用米等生産量 F	683
	令和7／8年主食用米等供給量計 G=E+F	841
	令和7／8年主食用米等需要量 H	663
	令和8年6月末民間在庫量 I=G-H	178

注1:上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式による輸入米は含まれない。

注2:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

現時点でわかっている値

【数値は、今後行う検証等を踏まえて検討】

- 153 <令和6年6月末民間在庫量(確定値)>
※1 このほか全届出業者(7万業者)を対象とした調査の在庫量6万トンが存在
- 679 <令和6年産水稻の収穫量(主食用)(確報)>
- 832 <令和6／7年主食用米等供給量計>①
※2 このほか政府備蓄米 36万トンを供給(注3)②
- 711 ... ① + ② - ③
- 157 <令和7年6月末民間在庫量(注4)>③
(政府備蓄米12万トンを含む)
※3 このほか全届出業者(7万業者)を対象とした調査の在庫量6万トンが存在
- 157③
- 735 <令和7年6月末時点の主食用米の作付意向>
(136.3万ha→ 735万トン(対前年 +56万トン)) (注5)
- 892 <令和7／8年主食用米等供給量計>
※4 このほか政府備蓄米25万トン(6月30日時点)を供給予定(注6)

<今後検証>

注3: 6月末までに供給された政府備蓄米36万トンは、入札による備蓄米:31万トン、随意契約による備蓄米:5万トン。

注4: 6月末の民間在庫量は、年間取扱数量500トン以上の業者(販売・出荷段階)の在庫量に「生産者の米穀在庫等調査」の対前年増減率等を基に算出した在庫量を加えたもの。

注5: 令和7年産米の生産量は、主食用米の作付意向136.3万haに平年単収539kg/10aを乗じたもの。

注6: 政府備蓄米の供給予定数量25万トン(6月30日時点)は、全て随意契約による備蓄米。

※数量は玄米ベース

会見・報道・広報	政策情報	統計情報	申請・お問い合わせ	農林水産省について
----------	------	------	-----------	-----------

ホーム > [会見・報道・広報](#) > [報道発表資料](#) > 水田における作付意向について（令和7年産第3回中間的取組状況（6月末時点））

プレスリリース

水田における作付意向について（令和7年産第3回中間的取組状況（6月末時点））

ポスト

印刷

令和7年7月18日
農林水産省

農林水産省は、本日、令和7年産の水田における戦略作物等の作付意向について、第3回中間的取組状況(令和7年6月末時点)を取りまとめました。

1.趣旨

農林水産省では、水田農業に関して産地・生産者が主体的に作付けを判断し、需要に応じた生産・販売を行うことができるよう、きめ細やかな情報提供を行うこととし、その一環として、都道府県農業再生協議会及び地域農業再生協議会が、需給動向等を踏まえて見込む作付意向を聞き取り、都道府県別及び地域農業再生協議会別の作付意向（中間的取組状況）を公表しているところです。

この度、第3回中間的取組状況として、都道府県別の6月末時点の作付意向を公表します。

なお、作付意向については、本調査結果等も踏まえ、8月20日(水曜日)までに、生産者から地域農業再生協議会への取組計画書の修正が提出される可能性があるため、今後変動することが見込まれます。

2.都道府県別の作付意向（令和7年6月末時点）

（1）各都道府県の主食用米の作付意向

令和6年産実績と比較すると、以下のとおりと見込まれており、全国的に主食用米の作付けが増加しています。

136.3万ha（対前年差＋10.4万ha）

また、平年単収（539kg/10a）で生産量を計算すると、735万トン（対前年56万トン増）に相当します。

735万トン（対前年56万トン増）は、過去5年間で最大の生産量となる見込みであるとともに、増加の伸びも主食用米の生産量の調査を開始した平成16年産以降、最大となる見込みです。

（2）各都道府県の戦略作物の作付意向

令和6年産実績との比較による各都道府県の戦略作物の作付意向は、以下のとおりと見込まれています。

ア. 加工用米

4.4万ha（対前年差▲0.6万ha）

イ. 新市場開拓用米（輸出用米等）

0.9万ha（対前年差▲0.2万ha）

ウ. 米粉用米

0.4万ha（対前年差▲0.3万ha）

エ. 飼料用米

4.9万ha（対前年差▲4.9万ha）

オ. WCS用稲（稲発酵粗飼料用稲）

5.0万ha（対前年差▲0.7万ha）

カ. 麦

9.6万ha（対前年差▲0.7万ha）

キ. 大豆

7.6万ha（対前年差▲0.9万ha）

3.地域農業再生協議会別の作付意向（令和7年6月末時点）

地域農業再生協議会別の作付意向の詳細については、以下をご覧ください。

ア.北海道（<https://www.maff.go.jp/hokkaido/syokuryo/jyukyu.html>）

イ.東北ブロック（https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/komeseisaku/sakutuke_doko.html）

（青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県）

ウ.関東ブロック（<https://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komeseisaku/sakudou.html>）

（茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・長野県・静岡県）

エ.北陸ブロック（<https://www.maff.go.jp/hokuriku/seisan/kaikaku/sakudou.html>）

（新潟県・富山県・石川県・福井県）

オ.東海ブロック（<https://www.maff.go.jp/tokai/seisan/shinko/kome/sakutsuke/index.html>）

（岐阜県・愛知県・三重県）

カ.近畿ブロック（https://www.maff.go.jp/kinki/seisan/nousan/inemugi/sakutukedoko/sakutuke_doko.html）

（滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県）

キ.中国四国ブロック（https://www.maff.go.jp/chushi/kome/saku_dou.html）

（鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県）

ク.九州ブロック（<https://www.maff.go.jp/kyusyu/seiryuu/komeseisaku/komeseisaku.html>）

（福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県）

ケ.沖縄県（外部リンク）（<https://www.ogb.go.jp/nousui/nouchiku/6610/6613/006614/sakudou>）

添付資料

[令和7年産米等の作付意向について（第3回中間的取組状況（令和7年6月末時点））](#)（PDF：358KB）

お問合せ先

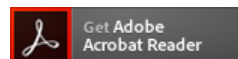
農産局企画課水田農業対策室

担当者：浅見、坂田、松本

代表：03-3502-8111（内線4778）

ダイヤルイン：03-6744-7135

PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。
Adobe Readerをお持ちでない方は、バナーのリンク先からダウンロードしてください。



公式SNS



関連リンク集

農林水産省
トップページへ

農林水産省

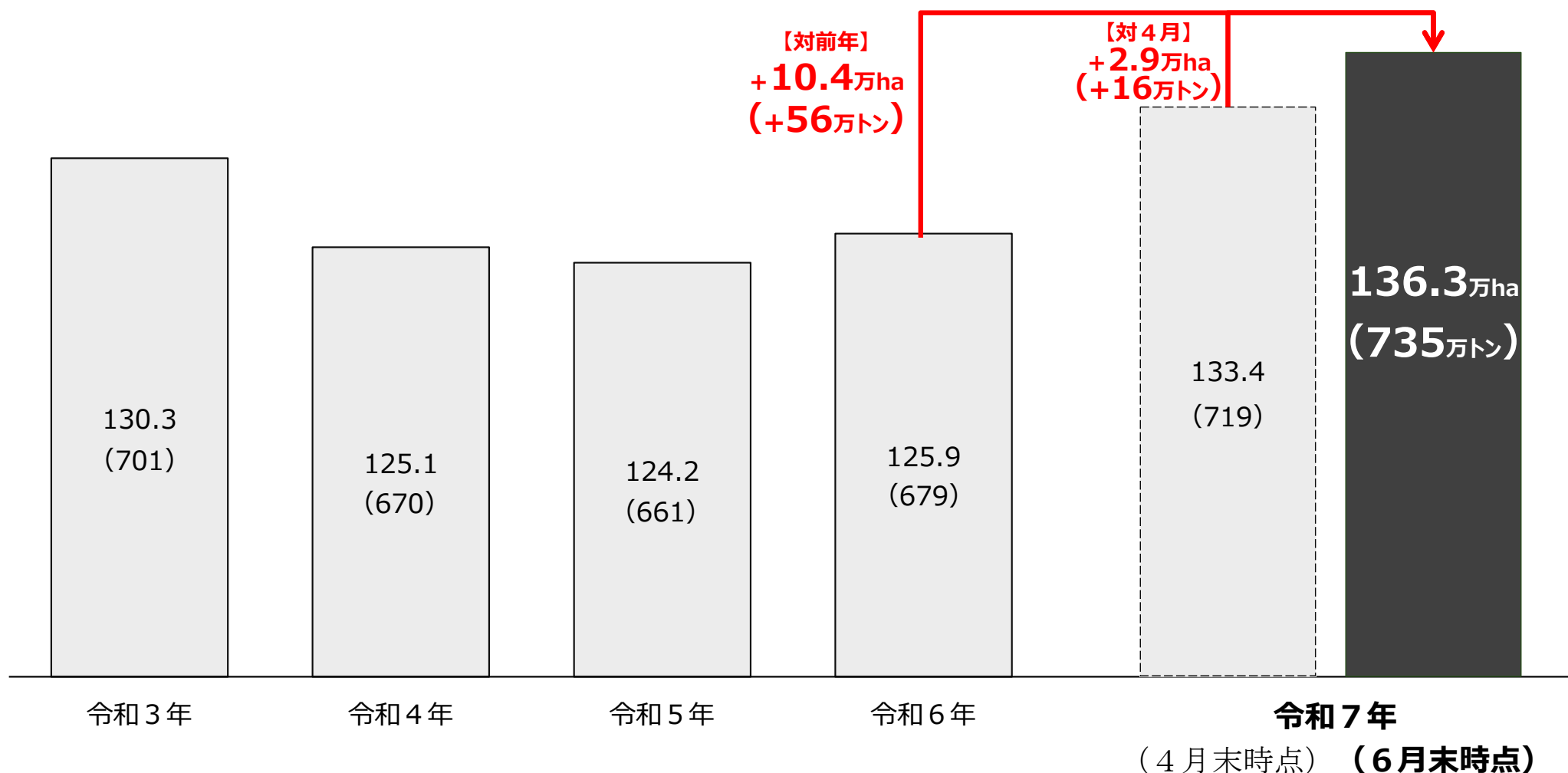
住所：〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
電話：03-3502-8111（代表）[代表番号へのお電話について](#)
法人番号：5000012080001

ご意見・お問い合わせ

アクセス・地図

水田における作付意向（令和7年産第3回中間的取組状況（令和7年6月末時点））【概要】

- 本年6月末時点の主食用米の作付意向は、136.3万ha（対前年10.4万ha増）、735万トン（対前年56万トン増）
- 4月末時点の前回調査時と比べ、さらに2.9万ha、16万トンの増
- 過去5年で最大の生産面積（増加の伸びも生産量調査を開始した平成16年産以降、最大）



水田における作付意向（令和7年産第3回中間的取組状況（令和7年6月末時点））【詳細】

○ 農林水産省では、産地・生産者が主体的に作付けを判断し、需要に応じた生産・販売を行うことができるよう、都道府県別の作付意向を聞き取り、公表。過去5年間の各作物の作付推移は、次のとおり。

【主食用米、備蓄米及び戦略作物の作付状況】

(万ha)									
	主食用米	備蓄米	戦略作物						
			加工用米	新規需要米				麦	大豆
				新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 (稲発酵 粗飼料用稲)		
R 3 年 産	130.3	3.6	4.8	0.7	0.8	11.6	4.4	10.2	8.5
R 4 年 産	125.1	3.6	5.0	0.7	0.8	14.2	4.8	10.6	8.9
R 5 年 産	124.2	3.5	4.9	0.9	0.8	13.4	5.3	10.5	8.8
R 6 年 産	125.9	3.0	5.0	1.1	0.6	9.9	5.6	10.3	8.4
R 7 年 産 (6 月 末 時 点)	136.3	—	4.4	0.9	0.4	4.9	5.0	9.6	7.6
対前年差	10.4	▲ 3.0	▲ 0.6	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 4.9	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 0.9

注1：主食用米及び戦略作物の7年産意向は、地方農政局等が6月末時点で都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（麦・大豆は基幹作の面積）。

2：主食用米の6年産以前の実績は、統計部公表の主食用米作付面積。

3：加工用米及び新規需要米（新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米及びWCS用稲）の6年産以前の実績は、取組計画認定面積。

4：麦・大豆の6年産以前の実績は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

5：備蓄米は、7年産米の入札を当面中止。6年産以前の実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。

6：単位未満で四捨五入しているため、対前年差について、表記上の数値による計算結果と一致しない場合がある。

水田における作付意向（令和7年産第3回中間的取組状況（令和7年6月末時点））①

(千ha)

都道府県	主食用米			戦略作物													
				加工用米	新規需要米						麦		大豆				
	新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲免酵素飼料用稲)										
	6年産実績	7年産意向	対前年実績		6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	
全国計	125.9万	136.3万		50.2	43.7	11.2	9.4	6.3	3.7	98.7	49.2	56.5	49.8	103.1	95.8	84.4	75.8
北海道	83.7	90.3	↗	6.8	8.0	2.5	2.2	0.2	0.1	5.3	2.3	2.5	3.1	31.8	29.8	16.5	14.8
青森	37.2	43.7	↗	0.7	0.3	0.5	0.3	0.0	0.0	5.4	4.3	0.9	0.8	0.5	0.5	4.8	4.3
岩手	43.1	46.8	↗	1.3	0.8	0.4	0.4	0.0	0.0	4.8	3.0	2.5	2.1	3.5	3.3	4.1	3.7
宮城	58.4	64.9	↗	0.9	1.4	1.2	1.1	0.1	0.1	7.2	3.6	3.0	2.4	2.2	2.3	9.4	8.6
秋田	72.2	81.1	↗	8.4	5.7	0.5	0.5	0.3	0.2	2.5	0.9	1.4	1.0	0.1	0.1	8.5	7.5
山形	52.4	57.0	↗	4.3	4.7	0.5	0.5	0.1	0.0	4.7	3.4	1.4	1.3	0.1	0.1	4.5	4.1
福島	56.5	67.3	↗	0.4	1.0	0.2	0.1	0.0	0.0	7.0	1.6	1.1	0.9	0.4	0.4	0.9	0.8
茨城	59.9	66.4	↗	1.3	1.1	1.1	0.9	0.1	0.1	10.3	4.4	0.6	0.6	3.9	3.5	0.7	0.6
栃木	49.0	57.9	↗	1.9	1.7	0.1	0.0	0.9	0.2	11.6	5.1	2.3	1.9	7.5	6.9	0.4	0.3
群馬	12.8	14.6	↗	1.4	0.2	0.0	0.0	0.2	0.1	1.0	0.3	0.6	0.6	2.2	1.3	0.1	0.1
埼玉	28.4	30.2	↗	0.1	0.1	0.1	0.0	0.9	0.4	2.1	0.9	0.1	0.1	2.2	2.2	0.4	0.3
千葉	48.3	53.9	↗	2.1	1.5	0.0	0.1	0.1	0.0	6.6	2.1	1.3	0.9	0.5	0.4	0.2	0.2
東京	0.1	0.1	→	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2.8	2.8	→	-	-	-	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新潟	101.4	108.7	↗	6.8	6.6	1.8	1.5	1.4	0.7	2.9	1.4	0.7	0.6	0.2	0.2	3.9	3.4
富山	31.2	33.5	↗	1.1	1.3	0.4	0.4	0.3	0.3	1.9	1.5	0.5	0.5	3.3	2.9	3.7	3.6
石川	21.2	21.9	↗	0.5	0.5	0.1	0.0	0.2	0.2	0.5	0.2	0.1	0.1	1.2	1.1	1.0	0.8
福井	21.9	23.5	↗	0.5	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	1.5	0.9	0.2	0.1	5.2	5.0	0.1	0.1
山梨	4.6	4.6	→	0.1	0.1	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
長野	29.0	30.0	↗	0.8	0.4	0.3	0.2	0.0	0.0	0.3	0.2	0.3	0.3	2.5	2.3	0.6	0.6
岐阜	19.6	20.6	↗	1.1	0.9	0.1	0.1	0.1	0.1	2.8	1.9	0.3	0.3	3.7	3.6	0.3	0.2
静岡	14.4	14.9	↗	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.0	0.0
愛知	25.0	25.6	↗	0.6	0.5	0.0	0.0	0.3	0.3	1.3	1.0	0.2	0.1	5.7	5.6	0.1	0.1
三重	24.5	25.3	↗	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	2.0	1.3	0.3	0.3	7.1	6.8	0.2	0.1

注1：主食用米の6年産実績は、令和7年2月統計部公表の主食用米作付面積。
2：主食用米及び戦略作物の7年産意向は、地方農政局等が6月末時点で都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（麦・大豆は基幹作の面積）。
3：主食用米の対前年実績は、6年産実績と比較し、「↗：増加傾向」（1%超増加）、「→：前年並み」（増減1%以内）、「↘：減少傾向」（1%超減少）で分類。
4：加工用米及び新規需要米（新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米及びWCS用稲）の6年産実績は、取組計画の認定面積。
5：麦・大豆の6年産実績は、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
6：戦略作物の7年産意向の数値は、6年産実績と比較し、「赤：増加傾向」（1%超増加）、「黒：前年並み」（増減1%以内）、「緑：減少傾向」（1%超減少）で分類。

水田における作付意向（令和7年産第3回中間的取組状況（令和7年6月末時点）） ②

(千ha)

都道府県	主食用米			戦略作物													
				加工用米		新規需要米								麦		大豆	
	新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米			飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)									
	6年産実績	7年産意向	対前年実績	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向
滋賀	27.4	28.5	↗	0.5	0.3	0.2	0.2	0.0	0.0	1.5	1.0	0.3	0.3	8.5	8.2	0.5	0.5
京都	13.0	13.2	↗	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2
大阪	4.3	4.2	↘	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
兵庫	32.2	33.2	↗	0.7	0.6	0.2	0.2	0.0	0.0	0.7	0.4	1.0	0.9	2.0	1.9	1.6	1.4
奈良	8.0	7.9	→	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0
和歌山	5.7	5.6	↘	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鳥取	11.6	12.0	↗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.5	0.4	0.4	0.1	0.1	0.6	0.5
島根	15.7	16.1	↗	0.2	0.1	0.0	-	0.0	0.0	0.7	0.5	0.8	0.7	0.3	0.2	0.6	0.5
岡山	27.2	28.1	↗	0.3	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0	1.1	0.3	0.5	0.5	1.2	0.9	1.0	0.7
広島	20.1	20.1	→	0.4	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.4	0.1	0.7	0.7	0.3	0.2	0.2	0.2
山口	15.8	16.2	↗	1.0	0.8	0.1	0.1	0.0	0.0	1.0	0.6	0.4	0.4	0.8	0.8	0.7	0.6
徳島	9.8	10.3	↗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0
香川	9.8	9.9	↗	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.3	0.3	1.2	1.2	0.0	0.0
愛媛	12.7	12.8	→	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.3	0.2	0.3	0.2	0.4	0.4	0.3	0.3
高知	10.1	10.4	↗	0.1	0.1	-	-	0.0	0.0	1.0	0.5	0.3	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0
福岡	32.2	34.3	↗	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2	0.2	2.2	1.1	2.3	2.0	1.2	1.1	7.7	6.8
佐賀	22.0	23.7	↗	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.5	2.3	1.8	1.1	0.2	6.5	6.3
長崎	9.4	9.4	→	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	1.6	1.5	0.1	0.1	0.3	0.2
熊本	28.8	31.7	↗	0.7	0.3	0.0	0.0	0.2	0.1	1.4	0.6	9.4	8.3	0.8	0.7	2.1	1.8
大分	17.8	18.8	↗	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	1.8	1.1	2.8	2.4	0.7	0.6	1.1	0.8
宮崎	12.4	13.4	↗	2.1	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.8	7.4	6.8	0.0	0.0	0.2	0.2
鹿児島	15.6	17.4	↗	1.4	0.9	0.0	-	0.0	0.0	0.7	0.4	4.2	3.5	0.1	0.1	0.3	0.2
沖縄	0.6	0.6	↗	0.0	0.1	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-

注1：主食用米の6年産実績は、令和7年2月統計部公表の主食用米作付面積。
注2：主食用米及び戦略作物の7年産意向は、地方農政局等が6月末時点で都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（麦・大豆は基幹作の面積）。
注3：主食用米の対前年実績は、6年産実績と比較し、「↗：増加傾向」（1%超増加）、「→：前年並み」（増減1%以内）、「↘：減少傾向」（1%超減少）で分類。
注4：加工用米及び新規需要米（新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米及びWCS用稲）の6年産実績は、取組計画の認定面積。
注5：麦・大豆の6年産実績は、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
注6：戦略作物の7年産意向の数値は、6年産実績と比較し、「赤：増加傾向」（1%超増加）、「黒：前年並み」（増減1%以内）、「緑：減少傾向」（1%超減少）で分類。

(参考) 主食用米の作付面積・生産量・需要実績の推移

年 次	作付面積 (万ha)	生産量 (万トン)	需要実績 (万トン)
平成16(2004)	165.8	860.0	865.4
17(2005)	165.2	893.0	851.7
18(2006)	164.3	840.0	837.5
19(2007)	163.7	854.0	854.5
20(2008)	159.6	865.8	823.6
21(2009)	159.2	830.9	814.1
22(2010)	158.0	823.9	820.0
23(2011)	152.6	813.3	813.3
24(2012)	152.4	821.0	781.1
25(2013)	152.2	818.2	786.6
26(2014)	147.4	788.2	782.5

年 次	作付面積 (万ha)	生産量 (万トン)	需要実績 (万トン)
27(2015)	140.6	744.2	766.2
28(2016)	138.1	749.6	754.0
29(2017)	137.0	730.6	739.6
30(2018)	138.6	732.7	734.6
令和元(2019)	137.9	726.1	714.4
2(2020)	136.6	722.6	704.0
3(2021)	130.3	700.7	701.5
4(2022)	125.1	670.1	691.1
5(2023)	124.2	661.0	704.9
6(2024)	125.9	679.2	—

注1：平成16年産から平成19年産の作付面積・生産量は生産局資料、平成20年産以降は「作物統計」、需要実績は「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」による。

注2：需要実績は、例えば、平成16年の行には「平成16/17年」の需要実績を記載。

長野県の令和7年産の水田における作付意向（令和7年6月末時点）

地域農業 再生協議会	主食用米		戦略作物													
	6年産 実績 (ha)	7年産の意向 (対前年実績)	加工用米		新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)		麦		大豆	
			6年産実績 (ha)	7年産の意向 (対前年実績)	6年産実績 (ha)	7年産の意向 (対前年実績)	6年産実績 (ha)	7年産の意向 (対前年実績)	6年産実績 (ha)	7年産の意向 (対前年実績)	6年産実績 (ha)	7年産の意向 (対前年実績)	6年産実績 (ha)	7年産の意向 (対前年実績)	6年産実績 (ha)	7年産の意向 (対前年実績)
小諸市	525	↘	0	↘	2	↘	—	—	—	—	—	—	—	—	5	↘
佐久市	2,606	↗	77	↘	36	↘	5	↗	18	↘	31	↘	1	↗	14	→
川上村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佐久穂町	232	↗	7	↘	—	—	—	—	13	↘	—	—	0	↘	2	↘
小海町	20	↘	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	↗
軽井沢町	11	↘	—	—	—	—	—	—	2	↗	—	—	0	↘	1	↗
御代田町	66	→	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	↗	1	↘
立科町	395	↗	3	↘	19	↘	—	—	—	—	8	↘	—	—	4	↘
南牧村	12	→	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南相木村	0	→	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
北相木村	1	→	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
上田市	1,450	↗	19	↘	14	↘	—	—	1	↘	6	→	287	↘	61	↗
東御市	687	↗	14	↘	38	↘	—	—	3	↘	2	→	6	→	3	→
長和町	220	↗	6	↗	—	—	—	—	25	↘	—	—	—	—	6	↗
青木村	87	↗	—	—	—	—	—	↗	—	—	—	—	22	↘	0	↘
岡谷市	36	→	—	—	—	—	0	↘	—	—	—	—	0	→	0	→
諏訪市	321	↗	8	↘	7	↘	—	—	—	—	—	—	—	—	0	↘
茅野市	766	↗	16	↘	45	↘	—	—	2	↘	—	—	—	—	0	↘
下諏訪町	7	↘	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
富士見町	353	↗	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	→
原村	340	↗	17	↘	5	↘	1	↘	—	—	—	—	—	—	0	→
伊那市	1,749	↗	65	↘	26	↗	1	→	42	↘	41	↘	202	↘	38	↘
駒ヶ根市	680	↗	33	↘	9	↘	0	↘	1	↘	23	↘	107	↘	5	↘
辰野町	264	↘	6	↘	9	↘	—	—	1	↘	—	—	8	↘	1	↘
箕輪町	336	↗	24	↘	—	—	—	—	1	↘	41	↘	4	↘	6	↘
飯島町	459	↗	3	↘	—	—	—	—	3	↘	13	↘	43	↘	15	↗
南箕輪村	210	↗	6	↗	—	—	—	—	2	→	0	→	37	↗	10	↗
中川村	207	→	—	—	—	—	—	—	—	—	8	→	7	↘	0	↘
宮田村	211	→	3	↘	—	↗	—	—	2	↘	—	—	37	↘	25	→
南信州	1,478	↘	1	↘	0	→	—	—	—	—	11	↘	2	↗	8	↘

（注1）主食用米及び戦略作物の「7年産の意向（対前年実績）」は、6年産実績と比較し、「↗：増加傾向」（1%超増加）、「→：前年並み」（増減1%以内）、「↘：減少傾向」（1%超減少）で分類。

（注2）主食用米の「6年産実績（ha）」は、地域農業再生協議会が把握した面積。

（注3）加工用米、飼料用米、WCS用稲、米粉用米、新市場開拓用米の「6年産実績（ha）」は、取組計画の認定面積。麦・大豆の「6年産実績（ha）」は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

地域農業 再生協議会	主食用米		戦略作物													
	6 年 産 実績 (ha)	7 年 産の意向 (対前年実績)	加工用米		新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲免酢粕飼料用稲)		麦		大豆	
			6 年 産実績 (ha)	7 年 産の意向 (対前年実績)	6 年 産実績 (ha)	7 年 産の意向 (対前年実績)	6 年 産実績 (ha)	7 年 産の意向 (対前年実績)	6 年 産実績 (ha)	7 年 産の意向 (対前年実績)	6 年 産実績 (ha)	7 年 産の意向 (対前年実績)	6 年 産実績 (ha)	7 年 産の意向 (対前年実績)	6 年 産実績 (ha)	7 年 産の意向 (対前年実績)
木曽郡	243	→	-	-	-	-	-	-	-	-	10	↗	1	↗	5	↘
松本市	2,528	↗	22	↘	11	↘	-	-	33	↘	15	↗	696	↘	46	↘
塩尻市	512	↗	37	↘	14	↘	4	↘	-	-	3	↘	37	↘	35	↘
安曇野市	2,847	↗	19	↘	11	↘	3	→	135	↘	55	→	729	↘	39	↘
筑北村	143	↗	-	-	-	-	5	→	2	→	-	-	1	→	1	↘
麻績村	101	→	-	-	-	-	-	-	6	→	-	-	10	→	-	-
生坂村	51	→	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	↘	2	↗
山形村	86	→	-	-	-	-	-	-	-	-	7	→	-	-	9	→
朝日村	31	→	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大町市	1,352	↗	30	↘	26	↘	-	-	-	-	0	↗	24	↘	48	→
池田町	476	↗	-	-	10	↗	-	-	4	↘	-	-	26	↗	108	↘
松川村	675	↗	55	↘	1	↘	11	↗	3	↘	10	↘	10	↗	30	↘
白馬村	405	↗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	↘	31	→
小谷村	84	↗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	↗
長野市	1,279	→	54	↘	2	↗	-	-	4	↘	-	-	46	↘	10	↘
須坂市	136	→	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	↗
千曲市	389	↗	-	-	-	-	-	-	0	→	-	-	100	↘	14	↘
坂城町	105	↗	1	↘	-	-	-	-	3	↘	-	-	32	↘	4	↘
小布施町	87	↗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	↗
信濃町	439	↗	40	↘	-	-	-	-	-	-	-	-	1	↘	15	↗
飯綱町	412	↗	17	↘	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	↗
高山村	77	↘	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	→	1	↘
小川村	30	↗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	↗	9	↘
中野市	426	→	2	→	2	↗	-	-	-	-	-	-	3	↘	3	↗
飯山市	1,122	↗	122	↘	9	↗	0	→	-	-	-	-	0	↘	-	-
山ノ内町	75	↘	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
木島平村	389	↗	33	↘	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	↘
野沢温泉村	150	↗	14	↘	-	-	2	→	-	-	-	-	-	-	-	-
栄村	191	→	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注1) 主食用米及び戦略作物の「7年産の意向(対前年実績)」は、6年産実績と比較し、「↗: 増加傾向」(1%超増加)、「→: 前年並み」(増減1%以内)、「↘: 減少傾向」(1%超減少)で分類。

(注2) 主食用米の「6年産実績(ha)」は、地域農業再生協議会が把握した面積。

(注3) 加工用米、飼料用米、WCS用稲、米粉用米、新市場開拓用米の「6年産実績(ha)」は、取組計画の認定面積。麦・大豆の「6年産実績(ha)」は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

水稻収穫量調査の課題と見直しの方向について

- 水稻収穫量調査については、統計値が生産現場の実感と乖離があるとの声が多くあることから、その要因を把握すべく、生産者の方々や生産者団体、地方自治体と意見交換を実施。10a 当たり収量や全国の米の収穫量、作況指数等の統計値及びその取り方、公表の在り方について様々な意見を頂いたところ
- このうち、作況指数は、生産現場の実感との乖離の大きな要因であることが確認され、誤解を与えている面があることから、統計値に対する信頼性を確保するため、令和7年産からその公表は廃止する考え
- 引き続き、統計値の検証を進め、生産現場の実感に合い、精度の向上が図られるよう、検証結果を踏まえて必要な見直しを行う考え

【水稻収穫量調査の主な内容】

無作為で選定した調査ほ場で実際に刈取りを行い収量を把握

全国及び都道府県の「10a 当たり収量」の算出

- ・ 収量基準：農産物規格規程3等以上、ふるい目1.70mm以上の玄米
- ・ 1.70mm及び農家が利用するふるい目での数値を公表

全国及び都道府県の

「米の主食用収穫量」

(10a 当たり収量
(1.70mmベース)
×水稻作付面積)

全国及び都道府県の「作況指数」

$$\text{作況指数} = \frac{\text{10a 当たり収量 (調査による)}}{\text{10a 当たり平均収量 (標準による)}} \times 100$$

10a 当たり平均収量は、直近30年間の収量の傾向値から算定。

生産現場の実感に合わせ、

精度を向上させ継続

- ・ 農家ふるい目ベースの収穫量を算出(1.70mmベースも引き続き公表)
- ・ 人工衛星や収量コンバインなどのデータの活用

公表の廃止

- ・ 過去30年のすう勢で算定した平年収量との比較で実感と合わない、また収穫量全体が多いか少ないかを示したものの誤解があるため廃止
- ・ 農家ふるい目幅ベースの10a 当たり収量は引き続き公表
- ・ 平年収量は令和7年産は策定済。令和8年産以降は検討

生産現場の実感との乖離の要因の例と見直しの方向 (検証を進め、その結果を踏まえ必要な見直しを実施)

① 作況指数

- ・ 作況指数は、過去30年のすう勢で算定した平年収量と比較した数値であるが、生産現場では前年や直近の収量と比較して作柄を判断。
- ・ 収穫量全体が平年と比べ多いか少ないかを示したものであるとの誤解を与えている面あり
⇒令和7年産から公表の廃止（今後、統計委員会での審議・総務大臣の承認が必要）

② 10a 当たり収量及び米の収穫量

ア ふるい目

生産者は、品質向上を目指し、収穫基準のふるい目(1.70mm)より大きなふるい目(1.85mmや1.90mmなど)を利用しており、それにより選別したものが生産者の認識する収穫量
⇒収量基準となるふるい目を生産者が利用するふるい目に変更することの検討

イ 気象災害等による影響

生産者は、高温障害による未熟粒の発生や、精米歩留まりの低下により、製品ベースでの収量の減少を実感

- ⇒情報収集の強化や、精度の向上に向けた人工衛星データや収量コンバインなどの新技術を活用した取組の検討

生産現場の実感との整合性確保（公表内容の見直し）（イメージ）

- 作況指数については、過去30年間の収量のトレンドである平年収量との対比であり、収穫量の出来不出来を直近年と比較する傾向の高い生産者・関係者の実感とのずれの大きな要因であることを踏まえ、主食用米の収穫量の出来不出来（作柄）は前年との対比で示すよう変更し、作況指数の公表を廃止。
- 収穫量調査におけるふるい目については、1.70mmから生産者の用いる1.80mm～1.90mmへの変更を検討。
（今後、流通業界の意見も聞いて、流通実態も踏まえたものとなるよう検討）
- 1.70mmかつ三等以上については参考的に提供。

【現行の収穫量】

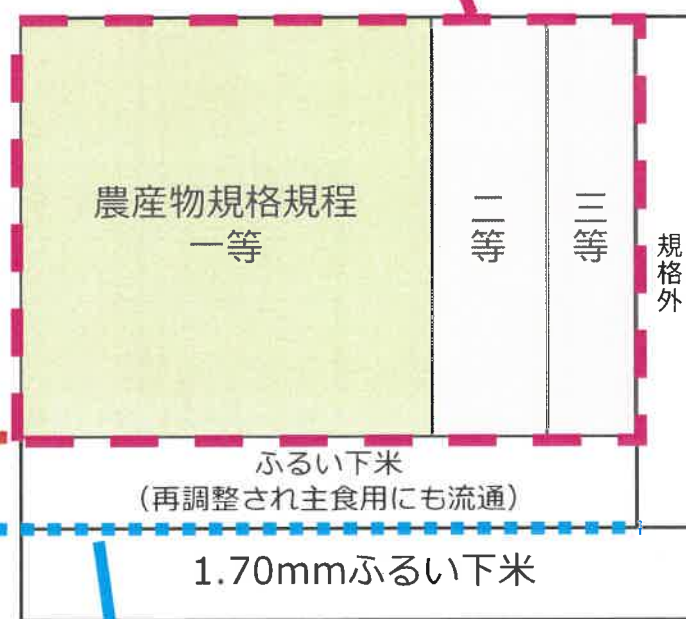
生産者が収量と認識しているのは、
生産者が使用するふるい目幅かつ一等
（特に米どころ地域）



収穫量調査では、主食用に供給される可能性のある米の総量を把握するため、ふるい目幅1.70mmかつ農産物規格規格三等以上を収量基準

【見直し後の収穫量（イメージ）】

収穫量調査においても、生産者が使用するふるい目幅に変更し、一等相当と考えられる数量等も情報提供することを検討



1.70mmかつ三等以上については参考的に提供

水稻収穫量調査へのデジタル技術の活用

- 人工衛星のデータを活用した作柄予測については、令和2年産から導入しているが、収穫量を予測するには精度が確保されていないことから、引き続き知見を収集し、今後の導入に向け検討を進める。
- 収穫と同時に収穫量等の測定が可能な収量コンバインの導入が進められていることから、標本調査に加え、試行的に収量コンバインで収集された収穫量のデータを活用することを検討。

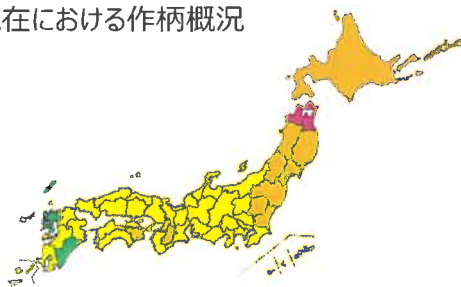
【新技術活用のイメージ】

水稻の作柄概況把握における衛星技術の活用

- ・人工衛星で把握する地表面温度や作物の繁茂状況などのデータを活用し、7月15日現在（西南地域の早期栽培のみ）、8月15日現在の水稻の作柄（良、やや良、平年並み、やや不良）を予測。

令和6年産水稻の8月15日現在における作柄概況

区 分	作柄の良否
■	良
■	やや良
■	平年並み
■	やや不良



9月以降の収穫量調査は実測で行っており、上記と同じ手法で収穫量を予測するための実証研究を令和4・5年度に実施したものの、生育の出来不出来は把握できるが、籾の中の充実の状況が確認できないため、収穫量を予測することは、現段階では精度が確保されておらず、活用には至っていない。

引き続き、各種の知見を収集し、今後の導入に向け検討を進める。

収量コンバインのデータ活用を検討



収穫と同時に収穫量・食味（タンパク値）・水分量等を測定し、ほ場ごとの収量・食味等のばらつきを把握する収量コンバインの導入が進展。

ほ場一筆ごとに把握された籾の重量や水分量から玄米重を推計するなど、収穫量のデータを活用することを検討。